令和８年度第２回士別市社会教育委員の会議議案

□と　き　令和８年10月29日（木）午後３時10分
□ところ　士別市役所本庁舎２階　会議室201～203

１　開　　会

２　挨　　拶

３　報告事項

（１）「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書」について　資料１

（２）令和７年度社会教育関係事業の報告について
・社会教育関係事業決算　資料２
・社会教育・社会体育施設の利用状況　資料３－１、資料３－２
・各公民館事業実績　資料４－１、資料４－２、資料４－３、資料４－４、資料４－５

（３）士別市人材育成・文化振興事業補助金交付申請に係る意見聴取（結果）について

（４）各種研修会の参加報告について
①第46回北海道市町村社会教育委員長等研修会【札幌市】／７月16～17日
参加者：鈴木議長、佐藤委員、太田委員
②令和８年度上川管内社会教育委員基礎講座【旭川市】／９月10日
参加者：鈴木議長、小田主任主事

（５）（仮称）士別市文化芸術振興ビジョンについて　資料５

（６）社会教育士等におけるグループ討議について　資料６

４　研究活動

５　連絡事項

（１）各種研修会の開催予定について
第65回北海道社会教育研究大会（宗谷大会）兼全国社会教育委員連合
北海道ブロック大会【稚内市】／11月12日～13日
参加者：鈴木議長、酒田委員、喜多委員、寺島委員、小田主任主事

（２）会議予定について
第３回　令和　年　月
第４回　令和　年　月

資料１

令和８(2026)年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書

【評価対象：令和７(2025)年度】

令和８(2026)年８月

士 別 市 教 育 委 員 会

目　次

１．令和７年度教育委員会の活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（１）教育委員名簿
（２）教育委員会会議の開催状況

２．教育委員会事務の点検・評価の概要　・・・・・・・・・・・・・・・　４
（１）点検・評価について
（２）教育行政評価委員について
（３）点検・評価の対象
（４）評価方法

３．令和７年度点検・評価結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
（１）点検・評価一覧表
（２）個別の点検・評価調書

４．点検・評価結果に関する評価委員の評価　・・・・・・・・・・・・４０
（１）「子どもたちの可能性を引き出す教育の推進」に関する評価
（２）「学びの機会を保障し、教育の質を高める環境の整備」に関する評価
（３）「地域と一体となった持続可能な教育の実現」に関する評価
（４）総合評価

１．令和７年度教育委員会の活動状況

（１）教育委員名簿

役　　職	氏　　名	任　　期	期数
教　育　長	泉　山　浩　幸	令和 5(2023)年 10 月 29 日～ 令和 8(2026)年 10 月 28 日	１
教育長職務代理者	馬　場　千　晶	平成 18(2006)年 10 月 29 日～ 令和 8(2026)年 10 月 28 日	５
教　育　委　員	加　藤　洋　之	平成 28(2016)年 10 月 29 日～ 令和 10(2028)年 10 月 28 日	３
教　育　委　員	山　田　敦　久	令和元(2019)年 10 月 29 日～ 令和 9(2027)年 10 月 28 日	２
教　育　委　員	多　田　千　鶴	令和 3(2021)年 10 月 29 日～ 令和 11(2029)年 10 月 28 日	２

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律第５条において、「教育長の任期は三年とし、委員の任期は四年とする。」と定められています。

（２）教育委員会会議の開催状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「士別市教育委員会会議規則」に基づき、市議会の同意を得た教育長及び４人の教育委員が、学校教育をはじめ、社会教育、文化、スポーツなどに関する事務の管理・執行のため、教育委員会規則など例規の制定・改廃並びに教育に関する様々な課題や施策・事業等について議論・審議しています。

令和７年度の各会議は、別紙のとおり開催しており、事務局から提出された付議案件についての説明を踏まえ、教育委員の質疑・審議・意見交換のもと、いずれの案件についても慎重な議論を経て決定しています。

さらに、市長が開催する「総合教育会議」については、令和７年８月と令和８年２月の２回開催しており、本市の教育について意見交換するなどして市長部局との意思疎通を図っています。

また、教育委員会では、教育を取り巻く課題等をいち早く把握するために、各種研修会への参加や学校訪問など、教職員や教育関係者との意見交換を行うとともに、自己研鑽に励んでいます。

今後においても、教育を取り巻く様々な課題に対応していく必要があり、引続き事務局との日常的な意思疎通を図るなかで、学校や教育関係施設の訪問、各種研修会への参加など、教育関係者との連携強化に基づく教育行政を一層推進していきます。

令和７年度　教育委員会会議開催状況

回	日程	議事・その他
1	4月22日	士別市教育委員会所管事務各種審議会等委員の選任（委嘱）について 士別市学校運営協議会委員の選任（委嘱）について 令和７年度士別市教育推進の重点について 人づくり・まちづくり推進計画策定方針について 今後の日程について
2	5月13日	士別市青少年指導センター指導員の選任（委嘱）について 令和７年度士別市教育委員会補正予算について 令和７年度士別市奨学生の選定について 市内小・中学校運動会及び体育祭 今後の日程について
3	5月21日	令和７年度士別市教育委員会補正予算について　※書面会議
4	7月7日	令和７年度第1回士別市総合教育会議の開催について 士別市教育委員会所管事務各種審議会委員の選任（委嘱）について 令和７年度士別市奨学生の選定について 士別東高校舎のあり方の検討・協議について 士別市学校給食持参ご飯アンケート結果報告書について 今後の日程について
5	8月19日	令和７年度士別市教育委員会補正予算の専決処分について 令和７年度士別市文化賞審議会に対する諮問について 北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会について 市内小・中学校学芸会及び学校祭について 今後の日程について
6	9月10日	令和７年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価（令和６年度事業）について 士別市における令和７年度全国学力・学習状況調査の結果等の分析について 令和８年度から使用する高等学校教科用図書の採択について 士別市高等学校バス通学費補助要綱の一部を改正する要綱について 令和７年度士別市教育委員会補正予算について 令和７年度士別市学校給食嗜好調査結果報告について フッ化物洗口の実施について 上川管内教育委員会連合会第２回委員研修会について 市内小・中学校学芸会及び学校祭について 今後の日程について
7	10月15日	令和７年度士別市文化賞の選定について 士別市スキーリフト条例施行規則の一部を改正する規則について 令和7年度士別市教育委員会補正予算について 士別市中学生のスポーツ・文化活動地域展開推進ガイドラインについて 令和７年度上川管内社会教育委員連絡協議会表彰について 第３回定例会における一般質問について 予算決算常任委員会（決算審査）における通告について 上川管内教育委員会連合会第２回委員研修会について 文化祭の日程について 今後の日程について
8	11月27日	令和７年度士別市教育委員会補正予算について 部活動の地域展開について 第４回定例会における一般質問について 今後の日程について
9	12月18日	第３期士別市人づくり・まちづくり推進計画（素案）について みよし市派遣交流事業について 朝日地区義務教育学校について 部活動の地域展開について 第４回定例会における一般質問について 今後の日程について

回	日程	議事・その他
10	1月14日	令和７年度士別市教育委員会補正予算について 令和８年度士別市教育委員会予算（案）について 士別市立小中学校通学区域規則の一部を改正する規則について 令和７年度全国体力・運動能力、運動習慣調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 第4 次士別市子ども読書活動推進計画について 第３期士別市スポーツ推進計画について 朝日地区義務教育学校の校名について 令和7 年度生活リズム実態調査の分析結果について 今後の日程について
11	2月6日	令和８年度士別市教育行政執行方針について 令和７年度士別市公民館活動功労者表彰について 令和７年度全国体力・運動能力、運動習慣調査における士別市の成果・課題について 士別市立学校設置条例の一部を改正する条例について 士別市奨学金貸与条例の一部を改正する条例について 士別市奨学金貸与条例施行規則の一部を改正する規則について 士別市総合教育会議について 今後の日程について
12	2月27日	士別市学校運営協議会規則の一部を改正する規則について 士別市青少年指導センター設置規則の一部を改正する規則について 士別市青少年指導センター業務規程の一部を改正する規程について 士別市人づくり・まちづくり推進本部等設置要綱の一部を改正する要綱について 士別市民自主企画事業マイプラン・マイスタディ実施要綱を廃止する要綱について 令和７年度士別市教育委員会補正予算について 令和８年度士別市学校教職員の人事異動について 令和８年第１回定例会大綱質疑について 今後の日程について
13	3月23日	士別市教育委員会所管事務各種審議会等委員の選任について 令和８年度地域コーディネーターの選任について 士別市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について 士別市遠距離児童生徒通学費支給規則の一部を改正する規則について 士別市学校教職員住宅条例施行規則の一部を改正する規則について 士別市立中学校部活動拠点校方式実施要綱について 士別市立中学校部活動指導員等設置要綱の一部を改正する要綱について 士別市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程について 士別市パークゴルフ場条例施行規則の一部を改正する規則について 士別市朝日山村広場条例施行規則の一部を改正する規則について 士別市朝日農業者トレーニングセンター条例施行規則の一部を改正する規則について 士別市生涯学習情報センター条例施行規則の一部を改正する規則について 士別市朝日サンライズホール条例施行規則の一部を改正する規則について 士別市サンライズホール自主企画事業補助金交付要綱の廃止について 士別市あさひサンライズホール文化芸術振興事業補助金交付要綱の制定について 令和８年度士別市教育委員会職員の人事異動について 遠距離通学におけるバスの運行について 第３期士別市人づくり・まちづくり推進計画について 第４次士別市子ども読書活動推進計画について 第３期士別市スポーツ推進計画について 入学式の日程について 今後の日程について
14	3月31日	士別市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について　※書面会議 士別市教育委員会職員の職名に関する規則の一部を改正する規則について 士別市立学校職員の自家用車の公用使用に関する規則の一部を改正する規則について

２．教育委員会事務の点検・評価の概要

（１）点検・評価について

平成１８年に改正された「教育基本法」を踏まえ、翌１９年６月２７日に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表することが義務付けられました。

本市では、平成２０年度から本取組を実施しており、本年度は、８月３日に評価委員会を開催のうえ、幅広い視点からご意見ををいただくなかで点検・評価を実施しています。

（２）教育行政評価委員について

士別市教育委員会教育行政評価委員設置規程第２条において、校長会、社会教育委員の会議、文化協会、スポーツ協会、PTA 連合会の５団体の代表者をもって構成すると定めており、本年度の評価委員については、次のとおり各団体から選出されています。

所属団体	役職	氏名	備考
士別市校長会	会長	宮嵜　　智	
士別市社会教育委員の会議	議長	鈴木　春樹	
士別市文化協会	副会長	森谷　昭英	
士別市スポーツ協会	会長	神田　英一	当日代理出席 大崎局長
士別市ＰＴＡ連合会	理事	乗松　　誠	士別南中 PTA 会長

（３）点検・評価の対象

「令和７年度士別市教育推進の重点」に盛り込んだ重点施策・事業を個別に検証したうえで、３つの大綱に紐づく各４つの項目に対する効果や達成度等を点検・評価しています。

（４）評価方法

①重点施策について、次の５つの観点から１～５点で点数評価します。

・事業の妥当性、市民ニーズ
・行政が関与する必要性
・目的に対する達成度
・総合計画に掲げる施策に対する貢献度
・コスト効率、受益者負担の正当性

②上記の点数評価を踏まえ、次のとおりＡ～Ｂに判定します。

・23 点以上かつ 3 点以下がひとつもない場合は…「Ａ」
・18 点以上かつ 2 点以下がひとつもない場合は…「Ｂ」
・13 点～17 点の場合は…「Ｃ」
・8 点～12 点の場合は…「Ｄ」
・7 点以下の場合は…「Ｅ」

③重点施策に紐づく事業が複数ある場合は、平均値をもってＡ～Ｅの５段階に評価します。また、今後の展開として「拡大・継続・統合・縮小・廃止・完了」の６区分に判定します。

④点検・評価の信頼性、妥当性、客観性を高めるとともに、今後の取組みの改善・充実に向けて、教育行政評価委員から点検・評価に関する意見や助言を受け、必要に応じて加除修正を行い最終評価とします。

３．令和７年度点検・評価結果

（１）点検・評価一覧表

大綱 / 項目 / 重点施策		評価	ページ
１．子どもたちの可能性を引き出す教育の推進			
(1) 新しい時代に必要とされる資質・能力の育成			
①	教育研究・教育目標推進事業、学習振興事業、学校図書館・少額理科設備整備事業（学校教育）	B	8
(2) ふるさと教育・キャリア教育の推進			
①	みよし市・川内村小学生交流事業（学校教育・社会教育）	B	9
②	対外活動奨励補助事業、（高校教育振興事業）（東高）	B	10
③	子ども文化活動推進事業（社会教育・中央公民館・博物館）	A	11
(3) 健康教育・食育の充実			
①	学校保健推進事業（フッ化物洗口）（学校教育）	A	12
②	学校給食センター管理運営事業、ふるさと給食事業、学校給食センター整備事業（給食センター）	A	13
(4) 特別支援教育の推進			
①	特別支援教育就学事業（学校教育）	A	14
２．学びの機会を保障し、教育の質を高める環境の整備			
(1) ICTを効果的に活用した教育の推進			
①	（学習振興事業）、情報通信教育推進事業（学校教育）	B	15
②	高等学校整備事業（東高）	B	16
(2) いじめ防止等の取り組みの充実			
①	不登校・いじめ問題等対策事業（学校教育）	A	17
(3) 子どもと向き合う時間の確保			
①	（学習振興事業）、学校事務職員配置事業、部活動地域移行促進事業（学校教育）	C	18
(4) 学びのセーフティネット等の構築			
①	【ソフト事業】（学習振興事業）、遠距離等通学助成事業、奨学資金貸付事業、教育格差解消事業、小学校閉校記念事業、高等学校バス通学補助事業（学校教育） 【ハード事業】小学校整備事業、中学校整備事業、中学校空調設備整備事業	B B	19 21
②	高校教育振興事業（東高）	B	22

大　綱 項　目 重点施策		評価	ページ
3．地域と一体となった持続可能な教育の実現			
（1） 地域と学校の連携・協働の推進			
①	子ども会育成連絡協議会補助事業、こども夢トーク推進事業、子ども議会チャレンジ応援事業（中央公民館）	B	23
②	社会教育推進事業、学校・家庭・地域連携協力推進事業（社会教育）	B	25
③	子どもの学習・生活習慣定着推進事業（社会教育・中央公民館）	B	26
④	市民文化センター施設環境整備事業（市民文化センター）	C	27
（2） 生涯学習・社会教育の振興			
①	士別市文化活動補助事業、人づくり・まちづくり推進事業（社会教育）	C	28
②	高齢者学習推進事業、公民館講座推進事業、市民自主企画事業（ﾏｲﾌﾟﾗﾝ・ﾏｲｽﾀﾃﾞｨ）、（中央公民館）	B	29
（3） スポーツの振興			
①	【ソフト事業】スポーツ合宿推進事業、総合型スポーツクラブ推進補助事業、スポーツイベント開催事業、市民スポーツ振興事業、児童・生徒大会参加交通費助成事業（スポーツ推進） 【ハード事業】体育施設整備事業、陸上競技場整備事業	B A	30 32
（4） 文化・芸術活動の振興			
①	人材育成・文化振興事業（社会教育）	C	33
②	市民総合文化祭事業（中央公民館）	B	34
③	図書館管理運営事業、図書・資料整備事業、図書館活動事業、ブックスタート事業、市民文芸活動振興事業、生涯学習展示活動事業、生涯学習情報センター整備事業（図書館）	B	35
④	（子ども文化活動推進事業）、博物館・公会堂展示館管理事業、博物館・公会堂展示館整備事業、特別展示活動事業、教育普及活動事業、特別学芸員調査研究活動事業（博物館）	A	37
⑤	子ども芸術劇場事業、あさひサンライズホール管理運営事業、サンライズホール整備事業（地域文化）	B	39

※各項目で重複する事業および経常予算については評価を省略できるものとする。

大綱	事業数	調書数	A	B	C	D	E
1．子どもたちの可能性を引き出す教育の推進	12	7	4	3	0	0	0
2．学びの機会を保障し、教育の質を高める環境の整備	17	7	1	5	1	0	0
3．地域と一体となった持続可能な教育の実現	37	13	2	8	3	0	0
合計（件）	66	27	7	16	4	0	0

（２）個別の点検・評価調書

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	学校教育課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
1	(1)	①	❶教育研究・教育目標推進事業	1,404
			❷学習振興事業	28,607
			❸学校図書館・少額理科設備整備事業	5,873

事務事業の概要

【目　的】

❶「知・心・体」の調和のとれた児童生徒の育成に向け、教職員が相互に研究をし、学校教育の向上発展を図る。
❷義務教育振興のため、教材購入、外部講師の招へい等を行うほか、教職員の働き方の見直し等を推進する。
❸学校図書及び理科設備の整備を行い、体験的な学習等の機会の充実を図る。

【内　容】

❶研究大会、研究発表会の開催や教育課程に関する調査研究等を行う。
❷「総合的な学習の時間」をはじめとする学校での学習活動の充実を図るとともに、保護者の負担軽減と教職員の業務効率化を図る。
❸「学校図書館図書標準」に基づき、学校図書の整備を図るとともに、学習指導要領に対応した理科教育等整備基準に基づき、理科設備の整備を図る。

【令和７年度改正点】

❶補助金の見直し
❷中学校教科書採択替えに伴う指導書等購入､校務支援システムのライセンス更新、学校運営協議会の事業費組み替え、学齢簿システム導入
❸図書整備費の見直し、会計年度任用職員報酬等の増

【令和７年度の評価・達成度等】

❶新たな学習指導要領への対応や授業改善等に効果を発揮している。
❷保護者負担軽減、働き方の見直し等に寄与している。
❸学校図書館図書標準を概ね達成している。

【今後の課題と対応策】

❶学習指導要領に対応し、学校教育の向上発展を図るため、教職員の研修等を継続する必要がある。児童生徒数の減少を踏まえた検討が必要である。
❷社会情勢を踏まえ、引き続き保護者負担軽減の取組を行う。効率的な働き方への見直しと、費用対効果を踏まえたシステム導入等の検討を行う。
❸図書標準達成状況のバラつきを平準化し､効果的に図書整備を進めるとともに、市立図書館や道立図書館からの貸し出しも活用する。

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	学校教育課・社会教育課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
1	(2)	①	みよし市・川内村小学生交流事業	2,979

事務事業の概要

【目　的】

友好都市・愛知県みよし市との交流や福島県川内村の児童受け入れを通じ、異なる環境や文化に触れることで、多様な価値観や豊かな人間性を育む。

【内　容】

・みよし市：みよし市に市内小学校の代表を派遣し、相互交流を行う。
・川 内 村：川内村の子どもたちを受け入れ、「士別にコラッセ交流学校」を実施する。

【令和７年度改正点】

・航空機ダイヤ改正への対応に伴うバス使用料等の増

【令和７年度の評価・達成度等】

・みよし市：両市の交流・理解促進につながっている。こうした成果を活かしつつ、次年度からのオンラインで交流への移行に向けた準備を進めた。
・川 内 村：合同授業を行うことで、お互いのまちの違いなどを知り、異なる文化や歴史などに触れている。

【今後の課題と対応策】

・学校教育事業としての関係機関の理解促進と社会教育事業としての展開を検討・協議する。
・受入れに係る負担の平準化や対象校が特定の１校に限定される課題の解消に向けた検討を進める。

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	東高等学校

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
1	(2)	②	対外活動奨励補助事業	228

事務事業の概要

【目　的】
　定体連・高文連等が主催する全道・全国大会に参加する生徒の対外活動を奨励する。

【内　容】
　大会参加にかかる経費の一部を助成する。

【令和７年度改正点】
　特になし

【令和７年度の評価・達成度等】
　全道・全国大会への出場をめざし、日々の練習や努力の継続、仲間や顧問教諭との協調性の大切さを体験している。

【今後の課題と対応策】
・生徒の大会参加時における安全・安心を確保する観点から、公共交通機関の利用の徹底などについて検討する。
・中学校の部活動地域展開と同様に、教職員の働き方改革や生徒の望ましい活動環境の確保などについて、検討を進めていく必要がある。

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	社会教育課、中央公民館、博物館

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
1	(2)	③	子ども文化活動推進事業	241

事務事業の概要

【目　的】

地域の特色を活かして、市内企業の協力による職業体験、社会教育団体の協力による普段は経験できない文化体験、市内の自然や歴史を肌で感じる自然歴史体験の機会を提供し、児童のふるさとへの郷土愛を育む。

【内　容】

士別ふるさと体験広場を開催し、子どもに文化や芸術、職業体験等に関する学習機会を提供する。また、体験メニューにより３コースに区分し、社会教育関係部署の連携のもと運営を行う。

対象：小学４～６年生　各コース事前登録制

体験内容

①職業体験コース（社会教育課）…駅員体験、販売業体験等（全４回）

②文化体験コース（中央公民館）…油絵体験、楽器演奏等（全６回）

③自然歴史体験コース（博物館）…自然・生き物観察、考古学体験等（全６回）

【令和７年度改正点】

職業体験コースの実施回数の見直し（全６回→全４回）

【令和７年度の評価・達成度等】

身近な地域の仕事や文化、自然歴史に直接触れることで、自らの生まれ育ったまちに対する理解が深まり、ふるさとへの愛着や郷土愛が着実に育まれている。

【今後の課題と対応策】

担当する所管課が連携を深めながら、情報提供や調査研究活動を実施する。参加しやすい実施日に配慮するとともに、子どもの興味関心を持たせるような周知方法を検討する。

評　価	【今後の展開】
A	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	学校教育課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
1	(3)	①	学校保健推進事業（フッ化物洗口）	6,388

事務事業の概要

【目　的】
児童生徒及び学校職員の健康保持増進を図る。

【内　容】
学校保健安全法に基づき、児童生徒及び学校職員の健康診断、環境衛生検査、安全点検その他の保健又は安全に関する事項を計画に実施する。

【令和７年度改正点】
フッ化物洗口への対応

【令和７年度の評価・達成度等】
・児童生徒及び学校職員に対する健康診断を適正に実施した。
・本市でこれまで未実施だったフッ化物洗口をすべての小学校で開始した。

【今後の課題と対応策】
・フッ化物洗口の効果や意義への理解が深まるよう、児童、保護者並びに教職員に対して継続的に周知を行う。
・フッ化物洗口を安定的に実施していくための方法（実施方法、使用する洗口液等）について引き続き検討を進める。
・学校医、学校歯科医の担い手が不足する中、持続的に配置することができるよう法人委託などの検討を進める。

評　価
A

【今後の展開】
□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	学校給食センター

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
1	(3)	②	❶学校給食センター管理運営事業	137,798
			❷ふるさと給食事業	4,007
			❸学校給食センター整備事業	41,689

事務事業の概要

【目　的】

❶栄養のバランスがとれた給食を児童生徒に提供することで、健康を増進し、望ましい食習慣の形成や自然への恩恵、さらには食にかかわる人々の活動への理解を深める。

❷児童生徒未就学児の地元農産物への理解と愛郷心を深める。

❸計画的に整備することにより、安全安心な給食を安定的に提供する。

【内　容】

❶小学校７校、中学校５校、高校１校に学校給食を年間約 256,000 食提供する。

❷地場農産物の使用を拡大し、食育の推進を図る。

❸学校給食センターは平成 13 年に改築され、使用している機器や設備が 20 年（耐用年数）以上経過しており、老朽化が進んできたため計画的に施設や設備、機器等を整備する。

【令和７年度改正点】

特になし

【令和７年度の評価・達成度等】

❶安定的に学校給食を提供することができた。

❷ふるさと給食を８回提供し、児童生徒に「自然の恵み」への感謝や「食の大切さ」を学ぶという「食育」とともに、愛郷心の醸成を図ることができた。

❸設備等の更新を計画どおり実施し、給食の安定的な供給に寄与した。

【今後の課題と対応策】

❶少子化による給食必要数が減少することに伴い、規模に見合う効率的な運用をめざす。

❷ふるさと給食について、未就学児向けには対応が難しく、誤嚥などの危険性が拭えないことから、実施の可否についての検討を進める。

❸設備・施設の劣化に応じて補修を行う。

評　価	【今後の展開】
A	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	学校教育課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
1	(4)	①	特別支援教育就学事業	37,899

事務事業の概要

【目　的】

障がいや発達段階に応じたきめ細かな指導や、保護者も含めたニーズに応じた支援を推進することで、等しく教育を受けられる機会を確保するとともに保護者の経済的負担の軽減を図る。

【内　容】

特別な支援等が必要な児童生徒に対し、個々のニーズに応じたきめ細かな対応を行うため、特別支援教育支援員の配置やことばに関する通級指導を継続実施する。

【令和７年度改正点】

・特別支援教育就学奨励費の増

【令和７年度の評価・達成度等】

・教育的ニーズに応じた学びの場を確保し、特別支援教育の充実を図った。
・特別支援教育就学奨励費を支給し、保護者の負担軽減を図った。
・士小に設置している「ことばの通級教室」について、次年度からの糸小におけるサテライト教室の開設に向けた準備を進めた。

【今後の課題と対応策】

・児童生徒数や学校数の減少が進むなか、支援員の適正配置に向けて他自治体の状況も踏まえながら検討を進める。
・増加傾向にある配慮が必要な児童生徒（外国籍児童生徒含む）への対応について検討を進める。

評　価	【今後の展開】
A	☐拡大　☑継続　☐統合　☐縮小　☐廃止　☐完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	学校教育課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
2	(1)	①	情報通信教育推進事業	101,721

事務事業の概要

【目　的】

文科省の「GIGA スクール構想」に基づき、児童生徒１人１台端末や高速大容量ネットワーク環境を整備し、個別最適な学び・協働的な学びを推進する。

【内　容】

学習用 ICT 端末の導入・更新、ネットワーク環境の整備、保守メンテナンス等を行い情報通信教育の推進を図る。

【令和７年度改正点】

・学習用 ICT 端末の更新（国庫補助）
・ネットワーク機器更新（国庫補助）
・セキュリティ対策の向上（ウイルス対策機能付き USB メモリ）
・大型モニター更新
・コンピュータ修理費の減、校務 PC 保守点検業務委託料の減

【令和７年度の評価・達成度等】

計画的なネットワーク機器等の更新を行ったほか、適切なセキュリティ対策を行いながら児童生徒の学習環境を整備した。

【今後の課題と対応策】

・文科省の「当面の推奨帯域」達成に向け、計画的なネットワーク整備の検討を進める。
・技術の発展により、次々と新たな規格、サービス、セキュリティへの対応が必要になることから、財政負担の平準化を図りながら計画的に整備を進める。
・１人１台端末環境の維持とネットワーク環境の充実を図りながら、教育効果の高いソフト等の検討・導入・活用を進める。

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	東高等学校

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
2	(1)	②	高等学校整備事業	2,972

事務事業の概要

【目　的】
　老朽化が進む東高校舎及び公宅の機能低下に対する応急・復旧措置等を講じ、生徒の安全・安心な教育環境を確保する。

【内　容】
光回線機器・情報処理室機器・クロームブック購入に係る備荒資金の償還

【令和７年度改正点】
特になし

【令和７年度の評価・達成度等】
・老朽化した校舎の機能維持に向けた対応を図った。
・学校設備の充実による教育活動の促進を図った。

【今後の課題と対応策】
・校舎移転までの間、適正な施設維持管理を行う。
・校舎移転に向けて、学校備品の移設・新設の振り分け等について検討を進める。

評　価	【今後の展開】
B	☐拡大　☑継続　☐統合　☐縮小　☐廃止　☐完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	学校教育課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
2	(2)	①	不登校・いじめ問題等対策事業	6,248

事務事業の概要

【目　的】

各学校の状況を適切に把握し、重大事案の発生を未然に防止するとともに、家庭や学校と連携・協力するなかで、何らかの理由によって登校できない児童生徒が社会的自立や学校復帰へ向けて歩き出せるように支援する。

【内　容】

一人ひとりのペースで学習活動や体験活動を行うことができるよう、適応指導教室「ウィズ」、心の教室相談員、家庭児童相談員、青少年相談員等との連携を図るなかで、問題を抱えた児童・生徒が登校しやすい環境を整備する。

【令和７年度改正点】

特になし

【令和７年度の評価・達成度等】

適応指導教室指導員を配置し、児童生徒の社会的自立や学校復帰へ向けた支援を行うとともに教材整備等を行った。

【今後の課題と対応策】

・市内の不登校児童生徒の割合が増加傾向にあるなか、指導員の人材確保・育成に向けた対応が必要である。
・個々の実態把握に基づいた対応策を検討する。
・学校や関係機関、不登校・いじめ問題等対策連絡会等との連携を図り、教育支援センターの設置に向けた検討を行う。

評　価	【今後の展開】
A	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	学校教育課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
2	(3)	①	❶学校事務職員配置事業	1,056
			❷部活動地域移行促進事業	88

事務事業の概要

【目　的】

❶国が定める配置基準を満たせず、事務職員が配置されない場合に、市単独で事務職員を配置することで負担軽減を図る。

❷生徒が多様なスポーツ・文化活動に参加できる機会を確保するため、地域・学校・行政が一体となって部活動の地域展開を進める。

【内　容】

❶配置基準に満たない場合に、円滑な学校運営のため学校事務職員として、会計年度任用職員を配置する。

❷士別市児童生徒地域スポーツ・文化活動検討協議会において、部活動の地域展開に向けた議論を深めるとともに、先進地視察や市民説明会を実施する。

【令和７年度改正点】

❷ガイドラインの策定、先進地視察、講師派遣、市民説明会等の実施

【令和７年度の評価・達成度等】

❶温根別小学校の閉校準備に向けて事務職員を配置し、教職員の負担軽減を図った。

❷事業に着手したばかりであり、関係者間の共通理解や具体的な取組内容が十分に整理されていないことから、現時点では将来像を明確に示せる段階には至っていない。

【今後の課題と対応策】

❶児童生徒数・学級数の減少により、国の事務職員配置基準定数に満たない学校が増える可能性があるが、財政負担も考慮するなかで、単年度限りの対応として継続実施する。

❷士別市中学生のスポーツ・文化活動地域展開推進ガイドラインに基づく具体的な取組を展開し、認定制度の構築や運営主体の立ち上げ等に向けた対応を加速させる必要がある。

評　価	【今後の展開】
C	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	学校教育課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
2	(4)	①	【ソフト事業】	
			❶遠距離等通学助成事業	49,092
			❷奨学資金貸付事業	2,880
			❸教育格差解消事業	9,872
			❹小学校閉校記念事業	556
			❺高等学校バス通学補助事業	246

事務事業の概要

【目　的】

❶児童生徒の通学手段の確保と保護者負担の軽減を図る。
❷経済的理由により就学困難な生徒・学生に対して奨学金を貸与し、等しく教育を受ける機会を確保する。
❸学校教育法第 19 条に基づく就学援助を行い、経済事情によって教育格差が生じないよう支援する。
❹学校の統廃合に伴い、これまでの歴史と歩みを地域全体で振り返り、感謝と誇りを次世代へつなぐ機会を確保する。
❺バス通学する生徒の保護者に対し、通学費を補助することで、高等学校への就学促進を図る。

【内　容】

❶通学費補助、スクールバス等の運行を行う。
❷士別市奨学金貸与条例に基づき、予算の範囲内で奨学金を貸与する。
❸士別市就学援助支給要綱に基づき、就学に必要な学用品費等を支給する。
❹温根別小学校の閉校に伴う閉校式を開催する。
❺士別市高等学校バス通学費補助要綱に基づき、通学費を補助する。

【令和７年度改正点】

❶スクールハイヤーの路線統合（西士別・北町）、臨時便の減
❸体育実技用具を現物支給から現金支給への改正、国の単価改訂への対応

【令和７年度の評価・達成度等】

❶遠距離通学を行う児童生徒が等しく登下校を行い、教育の機会均等が確保されている。
❷要綱に基づく適切な貸付を行った。
❸要綱に基づく適切な就学援助費の支給等を行った。
❹滞りなく閉校式が挙行され、７年度をもって事業完了。当面、実施予定なし。
❺要綱に基づく適切な補助を行った。

【今後の課題と対応策】

❶バス運行体系が複雑で、効率性にも課題がある。運行計画の作成・運用にあたって学校の負担が大きい。こうしたことから、持続可能な運行体系への見直しと全市的な統一ルールづくりが必要である。
❷物価高騰や高校・大学の無償化など、社会経済情勢を踏まえた基準設定について検討を進めていく。
❸国が定める基準額等を適宜確認のうえ適切に反映するとともに、申請漏れ等がないよう周知方法等について検討を進める。
❹士別東高校の移転を見据え、公平性を担保した統一的な制度改正に向けた検討を進めていく。

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	学校教育課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
2	(4)	①	【ハード事業】	
			❶小学校整備事業	0
			❷中学校整備事業	17,083
			❸中学校空調設備整備事業	124,322

事務事業の概要

【目　的】

❶❷老朽化が進む学校施設の計画的な改修による長寿命化や、機能低下に対する復旧措置等を講じ、子供どもたちの安全・安心な教育環境を確保する。

❸温暖化等の影響により道内の気温が上昇傾向にあるなか、命に係わる猛暑となった際にも、児童・生徒の健康を守り、快適な学習環境を確保する。

【内　容】

❶❷まちづくり総合計画および学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設整備を進める。

❸普通教室（特別支援教室）等に空調設備を設置する。

【令和７年度改正点】

特になし

【令和７年度の評価・達成度等】

❶入札が不調となり、次年度に実施することとした。

❷❸計画的な施設整備が行われた。

【今後の課題と対応策】

❶❷上士別小学校を除き、建築後 20 年以上となる学校が多く、建物や設備の老朽化が目立つ。国の交付金や有利な起債等を活用するなかで計画的に進めていく。

❸災害時の避難所機能として、体育館への空調設備は必要とされており、導入の可否について検討する。

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	東高等学校

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
2	(4)	②	高校教育振興事業	2,702

事務事業の概要

【目　的】

士別東高等学校の教育環境の充実と保護者負担の軽減を図るとともに、生徒の確保を図るなかで、高等教育の学びの場の提供と人材育成を推進する。

【内　容】

・校外活動等に係るバス借上げによる学習活動を促進する。
・教職員の学校運営や教科指導などの研究・研修等の促進するとともに、各種教育活動における保護者負担軽減を図る。
・遠距離通学生徒のバス通学の助成を行う。

【令和７年度改正点】

バス運賃の改訂に伴う補助額の改正

【令和７年度の評価・達成度等】

各種校内外学習活動（フードバンク活動・総合的探求（宝来太鼓・学校菜園など）、各種授業副教材援助（家庭科総合実習・食品加工実習材料費など）、バス通学助成、各種教職員研修などが適切に実施された。

【今後の課題と対応策】

校舎移転に向けた適切な学習環境整備等についての検討を進めるとともに、学校管理職を中心に教育目標に向けた本事業活動の計画的な実施と検証を進める。また、校舎移転に向けたバス通学助成の基準の整理を行う。

評　価
B

【今後の展開】

☐拡大　☑継続　☐統合　☐縮小　☐廃止　☐完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	中央公民館

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(1)	①	❶子ども会育成連絡協議会補助事業	550
			❷子ども夢トーク推進事業	0
			❸子ども議会チャレンジ応援事業	157

事務事業の概要

【目　的】

❶市の地域子ども会育成会の連絡調整を図り、地域子ども会の発展向上に寄与する。

❷夢を言葉にすることで、夢を持つ楽しさと好奇心が行動を起こす原動力となり、未来への希望と子どもたちの可能性を広げる。

❸子どもたちがまちづくりに関する学習会をとおして、わがまちに対する興味・関心を深めるとともに、未来を見据えた自由な発想で意見や考えを発表し、まちづくりに参画する。

【内　容】

❶士別市子ども会育成連絡協議会に対し、運営事業費の一部を補助する。

❷次世代を担う子どもたちに、自分の意見や考えを発表できる機会を提供し、夢や希望を市長、教育長と語り、挑戦する意欲や好奇心を高める。

❸市内中学生が、まちづくりに関する学習会をとおして、わがまちに対する興味・関心を深めるとともに、未来を見据えた自由な発想で意見や考えを発表し、また実践することによりまちづくりに参画する。

【令和７年度改正点】

特になし

【令和７年度の評価・達成度等】

❶地域の子どもたちや育成者との交流親睦が図られ、地域子ども会の発展向上と青少年の健全育成に貢献した。

❷子どもの自由な発想によるアイデアを市長、教育長と語り合い、有意義な交流の場とする事ができた。また、まちづくりへの参画意識の向上が図られたが小中学校での目的意識に乖離がある。

❸子ども議員としてまちづくりに参画することで主体性が育まれ、学習会や実践などを通して子ども達の成長を感じることができた。

【今後の課題と対応策】

❶少子化等により、地域子ども会の減少や子ども会活動に停滞感があるため、地域子ども会の活性化に寄与する取組を推進していく必要がある。

❷開催準備等で学校側に負担がかかっており、過度な負担が生じない開催方法等について検討する必要がある。（総合的な学習の時間等で学んだことを題材に発表してもらうなど）

❸事業内容が、課題解決の模索、実践の計画・実施、報告と長期にわたるため、子ども議員や職員の負担が大きい。『議会』形式にこだわらず、子ども達の成長に繋がる事業を展開する。また、R6 はまちづくり塾７期生が、R7 はまちづくり塾７期生 OB や地域おこし協力隊等の市民が企画運営に携わり、子ども達を指導する力を培ったことが成果として現れており、こうした行政主導ではなく市民や企業が主体となる事業展開を引続き検討する。

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	社会教育課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(1)	②	❶社会教育推進事業	529
			❷学校・家庭・地域連携協力推進事業	6,019

事務事業の概要

【目　的】

❶社会教育活動の推進を図るため、社会教育委員等の研修の機会に務めるとともに、教育活動の条件整備を図る。

❷地域住民の力を活用し、学校を支援することによって、教師が児童と向き合う時間を確保し、ゆとりある教育の推進及び学校を中心とした地域コミュニティの向上を図る。

【内　容】

❶士別市社会教育委員の資質向上のため、研修の機会を確保する。
市民の社会教育活動推進のため、サークルメイトや生涯学習ガイドなどの各種資料を発行する。

❷学校・家庭・地域の連携・協働を促進し、地域人材の参画による、教育環境の充実を図るとともに、学校を核とした地域づくりを進めるため、コミュニティ・スクールと連携した活動を推進する。

【令和７年度改正点】

❶各地（多寄・上士別・温根別・朝日）で実施していた親子施設研修（子ども会共催）を合同開催とする。【社会教育研修バス借上料の減額】

❷学校運営協議会に係る経費の計上（学校振興事業費から移動）

【令和７年度の評価・達成度等】

❶サークルメイトのホームページ化、社会教育人材の育成における研修機会の確保及び人材育成が図られた。

❷地域住民がコーディネーターを担う体制が整った。

【今後の課題と対応策】

❶社会教育士のネットワークづくりを進めるとともに、青年層の学びの場の創出し、まちづくりの担い手となる人材の育成を図る。また、障がい者の学びを推進するため、学習ニーズの把握と市民との協働による取組を検討する。

❷新たな活動の担い手の確保・育成を図り、地域間の活動格差の縮小及び質の向上を図る。（協議会の開催数、委員の出席率など）

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	社会教育課、中央公民館

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(1)	③	子どもの学習・生活習慣定着推進事業	337

事務事業の概要

【目　的】

望ましい学習、運動、生活習慣の定着をめざすとともに、異なる学校の児童交流を図る。

【内　容】

・チャレンジ寺子屋の実施
（夏・冬の長期休業中の３日間程度の学習会　対象者：小学３～６年生）
・チャレンジスクールの実施
（集団宿泊施設から直接学校に通学する通学合宿　対象者：小学４年生）

【令和７年度改正点】

実績に基づく補助金の減額

【令和７年度の評価・達成度等】

事業日数が３日間程度と限られており、学習習慣・生活習慣の定着のきっかけづくりにとどまっている。

【今後の課題と対応策】

・チャレンジ寺子屋については、士別翔雲高校のボランティアと連携するとともに、地域人材の活用の推進を図る。
・チャレンジスクールについては、ボランティアなどの地域人材の活用を通じて、地域全体で子どもたちを育てる意識の醸成を図る。
・先進地の状況を把握・検証するなかで、民間企業の参入について検討を進める。

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	市民文化センター

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(1)	④	市民文化センター施設環境整備事業	1,397

事務事業の概要

【目　的】

計画的な整備を実施することにより、文化芸術活動等のセンター利用者に対し快適な環境を提供する。

【内　容】

士別市民文化センター棟は、平成 8 年 11 月の開館以来 27 年、大ホールについては昭和 39 年 4 月の竣工、7 月の落成から 60 年が経過しており、共に計画的な改修を実施する。

【令和７年度改正点】

舞台音響設備購入、FCU コントローラー取替修繕

【令和 7 年度の評価・達成度等】

計画的な修繕を行い、施設整備及び教育環境の充実に寄与している。

【今後の課題と対応策】

経年劣化による施設維持経費の増加が見込まれるなか、計画的な維持管理を行う。

評　価	【今後の展開】
C	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	社会教育課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(2)	①	❶士別市文化活動補助事業	330
			❷人づくり・まちづくり推進事業	59

事務事業の概要

【目　的】

❶地域文化の創造と振興、伝統文化の継承、市民生活の向上に資することを目的に、各文化団体の芸術文化活動を支援する。

❷生涯学習の総合的かつ効果的な環境や条件等整備を図ることにより、生きがいと住みよいまちづくりを推進する。

【内　容】

❶士別市の文化活動の中核を担っている士別市文化協会が行う公共的な事業に対し、補助金を交付する。

❷人づくり・まちづくり推進計画の策定・推進・管理、及び協議会の開催など

【令和７年度改正点】

❶２市３町の輪番で開催される道北文化集会について、本市での開催の年にあたることから必要経費を計上

❷特別委員選任に伴う委員人数の増加（10 人→12 人）

【令和７年度の評価・達成度等】

❶鑑賞を中心とした受動的な機会から、今後は自主的な文化活動へとつなげていくことが求められる。

❷アンケート調査等を実施のうえ、庁内検討グループ会議（3 回）、推進協議会（5 回）、推進本部会議（2 回）の開催を経て、第３期計画を策定した。

【今後の課題と対応策】

❶市民が気軽に文化芸術に親しむ機会を創出するため、実施事業の見直しを図る。特に、若い世代が文化芸術に関心を持てる事業の充実について検討を進める。

❷計画の具体的な進捗確認の手法や推進体制のあり方等について検討を進める。

評　価	【今後の展開】
C	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	中央公民館

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(2)	②	❶高齢者学習推進事業	493
			❷公民館講座推進事業	175
			❸市民自主企画事業	45

事務事業の概要

【目　的】

❶集い・学び・交流する機会をとおして、高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、同世代の広い繋がりを構築する。

❷各講座への参加により、市民交流と親睦が図られ、更には既存の文化団体の育成と新サークルの結成をめざす。

❸市民活動グループの活性化と市民の学習意識の向上を図る。

【内　容】

❶基礎講座や自主企画活動を実施する。

❷現代社会に即応した各種講座を開催し、市民活動や文化活動を通じて、市民交流を図り、更には既存の文化団体の育成と新サークルの結成を図る。

❸市内の各種団体、サークル及び実行委員会が、市民を対象に自主的に企画した学習活動に対して、その事業経費の一部を支援し、市民の学習機会の拡大及び各種団体やサークル等の活性化を図る。

【令和７年度改正点】

特になし

【令和７年度の評価・達成度等】

❶高齢者の生涯学習・交流に貢献している。

❷新規サークル結成には至らずとも文化活動に触れる機会を提供できた。

❸既存団体による前年同様の利用に終始し、本来の目的として活用が乏しい。

【今後の課題と対応策】

❶登録者自身が集い、学び、交流することによる満足感は得られている。それに加え、もう一歩進んだ学びの地域還元や繋がりが生まれるよう、コーディネート機能の充実を図る。

❷ニーズに応じた講座の開催や適切な講師の選定ができるよう、社会教育関係職員の企画力の向上を図るとともに、地域と連携した事業実施を通じて資質・能力の向上を図る。

❸自主企画事業単体としては、令和７年度をもって廃止するが、学習機会の確保等に向けた取組は継続して推進していく。

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	スポーツ推進課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(3)	①	【ソフト事業】	
			❶スポーツ合宿推進事業	9,629
			❷スポーツイベント開催事業	17,074
			❸市民スポーツ振興等事業	26,597
			❹総合型スポーツクラブ推進補助事業	2,303
			❺児童・生徒大会参加交通費助成事業	472

事務事業の概要

【目　的】

❶道内外から合宿で訪れている日本陸連、日本実業団連合、各実業団・大学の陸上競技部、トライアスロン、スキーなどの受入れのため、既存チームの継続利用に向けた取組と新規利用の獲得を目指すための情報発信などの招致活動を行い地域の活性に繋げる。

❷各種スポーツ大会を開催し、道内外から広く参加者を募り、交流人口の増加による活性化や市民スポーツの振興、さらには「スポーツ合宿の里」の PR などを目的にスポーツイベントを開催する。

❸市民スポーツの普及・奨励及びスポーツ振興を図る。

❹総合型地域スポーツクラブにより生涯スポーツを推進する。

❺小中学生の文化･スポーツ活動推進として公共交通機関利用による費用を助成し、安心安全な大会参加を図る。

【内　容】

❶合宿受入に係る送迎、合宿招致活動、合宿の里士別推進協議会への補助等

❷各種スポーツイベントの開催に対する補助

❸士別市・朝日町両スポーツ協会への補助（事務局体制強化・運営補助金）、全国大会参加奨励金、市民クロカン、実業団陸上教室事業の開催等

❹士別市総合型地域スポーツクラブ運営委員会に対する補助

❺道内大会等における１団体につき年３回までの大会参加交通費助成

【令和７年度の評価・達成度等】
❶市の基本方針の柱の一つとして、市民理解を得ながら事業展開した。
❷予定していた全ての事業を開催し、一定の効果があった
❸スポーツ施設の充実や実施事業に対するニーズが高く、特に子どもたちを対象としている陸上・オリンピアン教室は重要な位置づけにある。
❹各地区におけるスポーツによる地域コミュニティ活動には意義がある。
❺児童・生徒の各種大会参加に伴う経済的支援のほか車両の運転、安全性の確保からもニーズは高い。

【今後の課題と対応策】
❶招致活動における新規チームや種目ごとのアプローチを再構築する必要がある。行政だけではなく、スポーツコミッションのような地域が一体となる体制づくりに向けて検討を進める必要がある。
❷各イベント等における、役員謝礼・昼食・役員ユニフォームなどの平準化に向けた検討を進め、早期に各実行委員会に図る。
❸スポーツ施設の管理体制のあり方や、第３期スポーツ推進計画に沿ったジュニア世代を中心とする事業推進などについて、スポーツ協会との更なる連携を図る。
❹事業継続が困難となる地域の顕在化、本来の目的と事業内容との整合性、事業規模の適正化、中央地区への集約等について、運営委員会における事業検証と改善を進める。
❺市内公共交通機関の利用を助成要件としているが、料金の高騰や運転手不足など課題があり、利用者のニーズを踏まえた総合的な検討が必要である。

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	スポーツ推進課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(3)	①	【ハード事業】	
			❶陸上競技場整備事業	148,153
			❷体育施設整備事業	3,336

事務事業の概要

【目　的】

❶平成４年の施設整備後 32 年が経過し、経年劣化により全天候型舗装材の隆起が散見され、競技会や合宿トレーニングに影響があることから、大規模改修を実施し、環境整備を図る。

❷スポーツ施設の適切な維持管理により、施設の長寿命化を図り安心安全な施設環境を提供する。

【内　容】

❶トラック及びフィールドの全天候型舗装材と下地舗装材を撤去し、新たな全天候型舗装材（フルウレタン）を整備する。

❷施設修繕及び備品等を購入する。

【令和７年度改正点】

❶令和７年度は合宿利用等を最大限考慮し、９月から既存の全天候型舗装材と下地舗装材の撤去及び下地舗装までを実施

【令和７年度の評価・達成度等】

❶天候にも恵まれ今年度実施予定工事は順調に進んだが、舗装路面の降雪、雪解けによる春先の影響を考慮し、当初予定に入っていなかったシートで覆う工程が追加となった。

❷適切な管理を実施するとともに公共施設の最適化に向けた協議を進めた。

【今後の課題と対応策】

❶令和８年６月末完成に向け、雪解け状況による除排雪や低温によるウレタン工程がスケジュールどおりとなるか懸念があり、特に除排雪の必要性について早めの判断が必要である。

❷公共施設マネジメント計画対象施設の最適化に向けた協議と４年ごとの使用料・手数料の見直しに向けた対応を着実に進める。

評　価	【今後の展開】
A	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	社会教育課、（総合政策課）

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(4)	①	人材育成・文化振興事業	2,790

事務事業の概要

【目　的】

自主的な文化活動や研究会等に対する助成や、姉妹都市・友好都市との交流促進事業等を通じて、人材育成と文化振興を図る。

【内　容】

人材育成に向けた文化・研究活動、及び姉妹都市・友好都市との交流事業に対する助成を行う。

【令和７年度改正点】

・みよし市ミニバス派遣の実施（派遣は初）
・交流推進事業の引率人数の基準見直し（生徒 3 人につき引率者 1 名）
・GMC 留学生派遣事業の実施（次回は R9 を予定）

【令和７年度の評価・達成度等】

補助件数等について、当初の目標を毎年度安定して達成している。

【今後の課題と対応策】

・交流事業の派遣について、隔年実施に変更するなど、持続可能な運用体制を検討する。
・国や民間団体等の補助金・助成金の積極的な活用や、補助上限額の見直しを進めるなど、事業の持続可能性の確保を図る。
・各補助事業等に対する社会教育委員の意見が適切に反映されるよう検討を進める。
・市民の自主的な文化活動を支援するため、制度の活用が見込まれる団体やグループに対し、過去の採択事例の紹介や事前相談窓口での周知を強化するなど、効果的な情報発信に取り組み、制度の活用促進を図る。

評　価	【今後の展開】
C	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	中央公民館

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(4)	②	市民総合文化祭事業	268

事務事業の概要

【目　的】
市民総合文化祭を開催し、市民が日常的に取り組む文化芸術活動の発表や作品を鑑賞する機会を提供することで、本市の文化芸術の振興と市民主体のまちづくりの推進を図る。

【内　容】
市民有志による実行委員会が主体となって文化祭を開催する。

【令和７年度改正点】
特になし

【令和７年度の評価・達成度等】
本市の文化活動の振興と市民の文化活動に対する意識の向上が図られた。

【今後の課題と対応策】
芸能発表会・作品展示ともに、参加者・観覧者の高齢化が進んでいる。一方、芸能発表では、新たに若年層の参加団体も見られたことから、こうした動きを継続・拡大できるよう積極的に参加促進を図る。

評　価
B

【今後の展開】
☐拡大　☑継続　☐統合　☐縮小　☐廃止　☐完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	図書館

大綱	項目	重点施策	事業名		事業費（千円）
3	(4)	③	❶	図書・資料整備事業	5,886
			❷	図書館活動事業	306
				ブックスタート事業	381
			❸	市民文芸活動振興事業	383
				生涯学習展示活動事業	73
				生涯学習情報センター整備事業	655

事務事業の概要

【目　的】

❶図書館資料の充実と整備を図り、図書館利用の促進と市民が必要とする情報提供や読書普及活動を実施する。

❷読書に親しむことのできる事業や、絵本を通して子どもの心の健やかな成長と親子のふれあいを深める機会を提供し、図書館利用の促進を図る。

❸市民が主体的に実施することのできる生涯学習の成果を発表する機会や文芸活動の作品発表の場を提供し、創作・創造への関心・意欲を高め、生涯学習の効果的な基盤整備と学習機会の充実を図る。

【内　容】

❶情報収集の拠点として多様化するニーズに対応し、図書館利用の促進と図書資料の充実による適切な情報提供を行う。

❷ボランティア団体と協力して実施する読み聞かせ会や、ブックスタート事業のほか、読書週間や季節の行事に合わせた各種事業を実施し、幅広い年齢層への読書普及を推進する。

❸生涯学習フェスティバルの開催や市民文芸の発刊、いぶきギャラリーへの展示活動の推進等を通じて作品や学習機会の発表する場の充実を図る。

【令和７年度改正点】

❶図書の収蔵能力や利用状況を鑑み、図書購入冊数の適正化並びに蔵書規模の適切な維持管理を図る。

❷協力団体への謝礼金及び記念品の見直しを行う。

❸市民文芸の隔年発行を継続する。

【令和７年度の評価・達成度等】

❶蔵書管理規模を見直し、新刊図書購入の適正化と図書資料の適切な除架・除籍を実施した。

❷読み聞かせ会やブックスタート事業など、親子や家族で参加できる事業を中心に各事業で一定の参加者があり、読書活動の普及に寄与している。

❸市民団体との共催による事業実施や編集ボランティアの協力による市民文芸誌の発行など、市民の自主的な参加が図られた。

【今後の課題と対応策】

❶「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を参考に、蔵書収蔵能力や図書館利用状況等を踏まえた図書・資料の購入整備・蔵書の適正な維持管理を継続し、市民ニーズに配慮した質の高い蔵書構成をめざす。

❷図書館利用者層や事業参加者の実情を把握し、市民生活や余暇活動等の動向を踏まえた新たな参加者の拡充に繋がる事業展開や、読み聞かせボランティア等の担い手育成を図る。

❸市民団体の会員数の減少や高齢化により創作・展示作品数が減少傾向にあることから、新たな利用者や展示出展団体の拡充のほか、気軽に利用できる環境づくりを検討する。

評　価	【今後の展開】
B	☐拡大　☑継続　☐統合　☐縮小　☐廃止　☐完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	博物館

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(4)	④	❶特別展示活動事業	394
			❷教育普及活動事業	556
			❸特別学芸員調査研究活動事業	246
			❹博物館・公会堂展示館整備事業	2,206

事務事業の概要

【目　的】

❶博物館が収集した資料や調査成果、士別にゆかりのある芸術家の作品や士別の歴史や自然、文化に関わりのある資料を展示する。
❷郷土の歴史や自然をテーマとした体験活動や講演会等を実施する。
❸人文科学や自然科学、芸術などの多彩な分野の専門家に特別学芸員として委嘱し、調査研究活動を行う。
❹経年劣化に伴う施設や設備の改修及び備品の更新等を実施することで、来館者の利便性及び安全性を確保する。

【内　容】

❶特別企画展「戦後 80 年～士別と戦争の記憶」、企画展「博物館周辺の植物さんぽ」、臨時企画展「士別・朝日合併 20 年展」、臨時特別展「和泉雅子追悼展」
❷自然観察会、地質めぐり、サイエンスフェスティバル、創作体験、科学体験、歴史探訪、古文書教室、考古学体験、昔の手仕事、クリスマスレクチャー、博物館収蔵資料調査隊、大型連休企画
❸地域の歴史や自然、文化などに関する調査研究活動
❹経年により改修が必要となっている博物館正面玄関の屋上等、３件の修繕工事及び視聴覚機器の更新等

【令和７年度改正点】

❶特別展、企画展は毎年異なる内容を実施
❷普及活動の内容は毎年異なる内容を実施
❸特別学芸員の辞任（１名）により１１名体制で事業を実施
❹文化振興基金（和泉雅子氏の寄付金）を活用し備品を購入

【令和７年度の評価・達成度等】

❶５つの特別展示活動を実施。来館者アンケートでは概ね満足と評価
❷25 回の体験講座等を実施。参加者アンケートでは概ね満足と評価
❸調査研究活動の成果について、博物館報告や各種講座等で市民に還元
❹修繕箇所の工事及び視聴覚機器の更新により、施設の長寿命化と施設内で使用する機器の更新が図られた。

【今後の課題と対応策】

❶資料収集活動や情報収集活動を行うなどして、展示活動の充実を図る。
❷資料収集活動や調査成果活動を行うなどして、講座内容の充実を図る。
❸特別学芸員の候補となる人材を確保するため、現在の学芸員の紹介などを通じて、特別学芸員をなり手を確保する。
❹経年劣化による施設の修繕（屋根等）や機器の更新（ボイラー等）を計画的に進めていく必要がある。

評　価	【今後の展開】
A	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

令和７年度　事務事業点検・評価調書

所　管　課	地域文化課

大綱	項目	重点施策	事業名	事業費（千円）
3	(4)	⑤	❶子ども芸術劇場事業	2,460
			❷サンライズホール整備事業	69,058

事務事業の概要

【目　的】

❶舞台芸術家を学校等へ派遣してワークショップや舞台鑑賞を実施し、市内の子ども達が優れた文化芸術に触れる機会を提供する。

❷築後 30 年が経過し、消防設備などの老朽化が進んでいることから適切な施設の維持管理を図るため計画的に整備を行う。

【内　容】

❶HipHop、jazz ダンス、シアタープログラム人形劇鑑賞などの実施

❷消防用設備改修、調整室内空調設備更新、冷却系統機器更新、屋上防水保護塗装等の実施

【令和７年度改正点】

❶指定管理業務と明確に区分し、新たなソフト事業として予算化

❷整備箇所の変更（消防用設備ほか 3 箇所）

【令和７年度の評価・達成度等】

❶子ども達の豊かな感性と想像力を育むため、芸術や文化とふれ合い情操の涵養を図っている。

❷利用者のニーズに応え、文化芸術活動の場としての施設運営に必要な整備を計画的に行っている。

【今後の課題と対応策】

❶授業時間数との兼ね合いや少子化に伴う学校数の減少が課題。子ども達への文化芸術に触れる機会の提供など将来的な事業のあり方を検討する必要がある。

❷設備更新や修繕費用の増加、維持管理コストの上昇などが課題。施設整備の精査や施設のあり方を検討し、緊急性や必要性を考慮しながら計画的に整備を行う。

評　価	【今後の展開】
B	□拡大　☑継続　□統合　□縮小　□廃止　□完了

４．点検・評価結果に関する評価委員の評価

（１）「子どもたちの可能性を引き出す教育の推進」に関する評価

①みよし市との交流事業について

みよし市との交流については、学校規模や児童数、使用するオンラインシステム等の違いもあることから、オンライン交流の実施に当たっては、双方の学校の実情を踏まえた交流方法を十分に検討する必要がある。

これまでの交流では、参加する学校や参加者の構成等に偏りが生じるなどの課題もあったことから、オンライン化によって、より多くの児童が参加できる機会を確保するとともに、交流の目的である他地域の児童との交流や異なる文化・環境への理解が深まるような内容となることを期待する。

今年度からの新たな取組となることから、実施後には参加した児童の反応や交流の成果、課題等を検証し、今後の交流方法の改善につなげていただきたい。

②川内村との交流事業の受入体制について

交流事業については、受入校に係る学校側の負担も考慮するなど、学校間で調整を図り、継続的に交流事業を実施できる受入体制を検討していただきたい。

交流そのものは、児童が異なる地域の文化や生活に触れる貴重な機会であることから、交流の意義を維持しながら、学校側の負担にも十分配慮した仕組みづくりを進めていただきたい。

③学校保健推進事業について

市内の歯科医については、高齢化などにより自院での診療に加えて学校の健診等に対応することが難しくなっている状況もあることから、今後の安定的な学校保健活動を維持するため、学校歯科医の確保について引き続き検討していただきたい。

④子ども文化活動推進事業について

職業体験コースの実施回数が６回から４回に見直されたが、文化体験コースや自然・歴史体験コースも含め、子どもたちの活動実態や参加状況を踏まえ、必要に応じて実施回数を見直すなど、子どもたちが無理なく参加できる事業となるよう検討していただきたい。

また、全日程への参加が難しい児童も多いことから、一部の日程のみでも参加しやすい仕組みとするなど、参加の裾野を広げる工夫についても検討していただきたい。

⑤特別支援教育について

特別支援教育については、支援を必要とする児童生徒が増加するとともに、保護者から早い段階で支援を希望するケースも増えていることから、今後も一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実を図っていただきたい。

現在、支援員を 24 名配置しているとのことだが、市内９校に分散して配置していることから、各学校において十分な支援体制を確保することが難しい状況もある。特別支援学級だけでなく、通常学級においても個別の支援を必要とする児童生徒がいることを踏まえ、支援員の配置については、各学校の実情や児童生徒の状況を考慮しながら、必要な支援体制の確保に努めていただきたい。

（２）「学びの機会を保障し、教育の質を高める環境の整備」に関する評価

①不登校への対応について

不登校児童生徒については、様々な理由から登校日数等の違いはあるが、一定数が学校生活に困難を抱えている状況にある。

不登校の要因についても、人間関係や学校生活への不適応だけでなく、家庭環境や生活リズム、本人の特性など多様化していることから、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援が必要である。

学校現場の負担も大きいことが想像されることから、学校だけで抱えることなく、関係機関との連携を図りながら、児童生徒や保護者に寄り添った支援体制の充実を図っていただきたい。

②学校体育館の環境整備について

学校体育館については、児童生徒の教育活動の場であるとともに、災害時には避難所として重要な役割を担う施設である。

近年の災害状況を踏まえても、避難所としての機能を高めることは重要であることから、財政状況等を考慮しつつ、空調設備の整備を含め、避難所として必要な環境整備について計画的に検討していただきたい。

③部活動の地域展開について

部活動の地域展開については、全国的にも様々な課題があるなか、本市においても厳しめの評価としていることは、本取組の難しさを表しているものと推察する。

過日の協議会で示された新たな方向性を踏まえ、学校やスポーツ関係団体等との認識の共有を進めるとともに、市民への説明を丁寧に行いながら、地域の実情に応じた持続可能な仕組みを構築していただきたい。

（３）「地域と一体となった持続可能な教育の実現」に関する評価

①文化センターについて

文化センターについては、施設の老朽化が進み、設備の更新や必要な修繕等にも多額の費用を要する状況にあることから、今後の施設のあり方について、令和 12 年度を目途とする方針も踏まえ、利用者や関係団体等との協議を継続していただきたい。

施設の今後の方向性については、単に廃止するかどうかという観点だけでなく、市民の文化活動の場をどのように確保していくかという視点も含め、検討していただきたい。

②子ども会活動について

子ども会活動については、地域によっては子ども会そのものが存在しない自治会もあることから、特定の組織への加入状況にかかわらず、できるだけ多くの児童生徒が地域活動に参加できる機会を確保していただきたい。

子ども会育成連絡協議会等が実施する事業についても、地域や団体への所属状況に左右されることなく、広く児童生徒が参加できる仕組みを維持するとともに、地域とのつながりを育む活動の充実を図っていただきたい。

③文化活動について

文化活動については、道北文化集会や市民総合文化祭など、行政からの手厚い支援に感謝申し上げる。

一方で、文化団体の規模縮小や担い手不足など、今後の活動継続に向けた課題もあることから、各団体の活動を支えるとともに、次世代の担い手の確保につながる取組についても検討していただきたい。

（４）総合評価

今回の点検・評価については、各事業の実施状況だけでなく、事業を取り巻く社会状況や子どもたちのニーズの変化、学校現場や関係団体の負担なども踏まえながら、適切に評価されているものと受けとめている。

特に、児童生徒数の減少や教育ニーズの多様化、担い手不足など、従来の仕組みだけでは対応が難しくなっている課題も多いことから、既存事業を単に継続するのではなく、実施方法や回数、対象者、関係機関との役割分担などについて不断の見直しが必要であることが理解できた。

今回の点検・評価を今後の施策や事業の改善につなげるため、委員から出された意見を十分に踏まえ、必要な見直しを進めていただきたい。

資料２

令和７年度　社会教育関係事業決算

（単位：千円）

款　項	目	事　業　名	R6 事業費	R7 事業費	事　業　の　概　要	担　当　部　署	大綱	項目	重点施策
②総務費 １総務管理費	12まちづくり推進事業費	人材育成・文化振興事業	812	2,790	人材育成に向けた文化・研究活動や姉妹都市・友好都市との交流事業に対して支援を行った。 ・人材育成文化振興事業　２件　315 ・交流推進事業　３件　2,475	総合政策課 社会教育課	3	(4)	①
③民生費 １社会福祉費	３青少年対策費	子ども会育成連絡協議会補助事業	700	550	子ども会の事業を推進する士別市子ども会育成連絡協議会に対し、その運営事業費の一部を補助した。	中央公民館	3	(1)	①
⑩教育費 １教育総務費	３義務教育振興費	みよし市・川内村小学生交流事業	2,048	2,979	みよし市・川内村との児童交流を実施した。 ・みよし市との交流に係る航空賃、宿泊料等　2,870 ・川内村との交流に係る消耗品購入費、食糧費等　109	学校教育課	1	(2)	①
５社会教育費	１社会教育総務費	社会教育推進事業	900	529	社会教育活動の推進を図るため、社会教育委員や社会教育関係職員等の研修機会の提供と教育活動の条件整備を進めた。 ・社会教育研修バス借上　249 ・社会教育委員研修　9 ・事務費等　271	社会教育課	3	(1)	②
		士別市文化活動補助事業	169	330	市民の文化活動の中核的役割を果たす士別市文化協会の活動に対して補助を行った。	社会教育課	3	(2)	①
		子どもの学習・生活習慣定着推進事業	371	337	高校生が運営補助として事業参画し、子どもたちの望ましい学習習慣及び生活習慣の定着を目的とした「しべつチャレンジ寺子屋」を実施した。 また、集団宿泊体験をとおして、社会のルールや自ら考え行動する力、相手を思いやる心など豊かな人間性を育むことを目的に事業を実施するチャレンジスクール実行委員会に補助した。 １　しべつチャレンジ寺子屋 ・実施日数　夏３日、冬３日　・対象　小学３～６年 ・参加者　夏　延べ102人（３校）、冬　延べ94人（３校） ２　しべつチャレンジスクール ・実施回数　１回　・日程　２泊３日 ・対象　小学４年生　・参加者数　13人（３校）	社会教育課 中央公民館	3	(1)	③
		学校・家庭・地域連携協力推進事業	5,948	6,019	学校と家庭、地域の円滑な連携・協働を推進し、地域人材の参画による教育環境の充実を図った。 ・社会教育アドバイザー　１人　4,284 ・地域コーディネーター　６人　642 ・学校運営協議会　431 ・学校支援サポーター　453 ・研修費、事務費等　209	社会教育課	3	(1)	②
		人づくり・まちづくり推進事業	19	59	生涯学習のまちづくりを推進するため、人づくり・まちづくり推進協議会を開催し、現行計画を推進するとともに、次期計画の策定に取り組み、第３期人づくり・まちづくり推進計画を策定した。	社会教育課	3	(2)	①

款　項	目	事　業　名	R6 事業費	R7 事業費	事　業　の　概　要	担　当　部　署	大綱	項目	重点施策
		子ども芸術劇場事業	－	2,460	市内の子ども達へ優れた文化芸術へ触れる機会を提供するため、市内各学校に講師を派遣し、鑑賞型事業、体験型ワークショップなどを行った。 ・業務委託料　2,460 派遣先　市内各小、中学校及び士別東高校 実施回数　27回	地域文化課	3	(4)	⑤
	２公民館費	高齢者学習推進事業	771	492	高齢者の学習意欲の向上を図るため、基礎講座を実施した。 また、同世代の繋がりをより広めるため、高齢者が自主的に企画・運営する自主企画活動を実施し、交流の機会を構築した。 ・基礎講座３コース　各10講座　計30講座実施 ・自主企画活動　２サークル	中央公民館	3	(2)	②
		市民自主企画事業 （マイプラン・マイスタディ）	69	45	市内の各種団体やサークルが自主的に企画した学習活動に対して、その事業経費の一部を支援した。 ・実施件数　３件　延べ205人	中央公民館	3	(2)	②
		市民総合文化祭事業	265	268	文化活動の総合的な発表の機会をとおして、市民の文化活動への意識を高めるとともに、地域文化の向上を図った。 １．作品展示 ・市民文化センター会場（10月31日～11月３日）来場者約950人 出展　448点（23団体、４個人） ・生涯学習情報センター会場(10月25日～11月４日)来場者約300人 出展　小学生115点　中学生24点 ２．芸能発表会（11月３日）来場者約550人 出演　24団体・個人　141人	中央公民館	3	(4)	②
		子ども文化活動推進事業	227	241	地域の特色を活かし児童のふるさとへの郷土愛を育むことを目的として、市内企業や社会教育団体などの協力による普段できない体験の機会を提供した。 ・職業体験コース　４回　小学４～６年　22人（延べ55人） ・文化体験コース　５回　小学４～６年　17人（延べ59人） ・自然歴史体験コース　６回　小学４～６年　23人（延べ67人）	社会教育課 中央公民館 博物館	1	(2)	③
		公民館講座推進事業	201	175	日常生活や親子の絆を育むことを目的とした各種講座を開催した。また、親子対象の講座を実施することで若年層への文化振興を図るとともに、市内講師を多く登用することで市民交流と親睦を図った。 ・親子で参加する公民館講座（４講座）　延べ63人 ・スマートフォン活用講座　26人 ・足もとからみる膝と腰の痛み　12人	中央公民館	3	(2)	②
		子ども議会チャレンジ応援事業	164	157	市内４校から推薦された中学生８人を子ども議員に任命し、「まちづくり」に関する学習会をとおして、わがまちに興味・関心を深めるとともに、未来を見据えた自由な発想でまちの課題や困りごとを解決するための実践活動を行った。 ・学習会　全12回 ・実践活動　とっとこin士別ウォーク＆士別知識王決定戦（10月13日） ・実践報告会（11月17日）	中央公民館	3	(1)	①

款　項	目	事　業　名	R6事業費	R7事業費	事　業　の　概　要	担　当　部　署	大綱	項目	重点施策
	３図書館費	図書館管理運営事業	60,618	63,493	図書館の管理運営を行うとともに、市民に活用される図書館をめざし、奉仕活動の向上に努めた。 ・館内、館外奉仕活動（巡回文庫他） 開館日数　303日 貸出冊数　66,165冊 （うち本館　63,905冊） （うち朝日分館　2,260冊） 利用者延人数（貸出分）　13,571人 （うち本館　13,016人） （うち朝日分館　555人） ・運営費（うち会計年度任用職員　８人　25,014千円）　30,920 □　会計年度任用職員以外の職員　４人　32,573	図書館	3	(4)	③
		図書・資料整備事業	8,526	5,886	情報化時代における市民の生涯学習の拠点施設としての機能を果たしていくため、図書館資料の充実に努めた。 ・図書資料等購入（図書、逐次刊行物、視聴覚資料等） 本館　4,992 朝日分館　894	図書館	3	(4)	③
		図書館活動事業	510	306	市民の図書館利用の促進と読書普及を図るため各種事業を行った。 ・読書感想文コンクール　128 ・手づくり絵本教室　10 ・読書週間事業（春・秋）　12 ・その他読書普及事業　156	図書館	3	(4)	③
		ブックスタート事業	393	381	０歳児に絵本３冊の入ったパックを、３歳児には絵本１冊を読み聞かせ会で贈呈し、読書への動機付けを図った。 ・０歳児　44人 ・３歳児　37人	図書館	3	(4)	③
		市民文芸活動振興事業	161	383	文集しべつ及び士別市民文芸を発行し、市民並びに児童・生徒の文芸活動の振興を図った。 ・文集しべつ印刷製本費　152 ・士別市民文芸印刷製本費　231	図書館	3	(4)	③
	４博物館・公会堂展示館管理費	博物館・公会堂展示館管理事業	34,415	35,992	○年間利用者数（開館日数251日） 幼児・小・中学生　個人　1,145人　団体　54人　計　1,199人 高校・一般　個人　4,355人　団体 119人　計　4,474人 計　個人　5,500人　団体 173人　計　5,673人 ○各種団体等の見学・研修・視察の受入　18件 ○資料の収集活動　6件　304点　○資料の貸出　11件 ・運営費（うち会計年度任用職員　１人　3,965千円）　13,771 □　会計年度任用職員以外の職員　３人　22,221	博物館	3	(4)	④
		博物館・公会堂展示館整備事業	3,882	2,206	・博物館屋根コーキング等補修　374 ・博物館屋上防水改修　880 ・備品購入（展示用アクリルボックス、大型ディスプレイほか）　952	博物館	3	(4)	④
		特別展示活動事業	480	394	○特別企画展	博物館	3	(4)	④

款　項	目	事　業　名	R6 事業費	R7 事業費	事　業　の　概　要	担　当　部　署	大綱	項目	重点施策
					・戦後80年～士別と戦争の記憶　7/20～9/21　1,345人 ○企画展 ・博物館周辺の植物さんぽ　5/17～7/6　435人 ○臨時企画展 ・合併20年展　11/1～11/30　185人 ・和泉雅子さん追悼展　3/1～3/29　208人 ○その他特別展 ・季節の行事展「端午の節句展」4/19～5/6　624人 ・季節の行事展「桃の節句 ひな人形展」2/7～3/8　138人 ・道北地区博物館等連絡協議会巡回展「巳年のへび展」10/17～11/13　334 ・多摩美術大学版画巡回展「タマ・アンプリメ」～通年 ○個展 ・ミニ個展「油彩展」9/5～10/5　エントランスホールにて実施				
		教育普及活動事業	812	556	○各種観察会及び学習会の開催 ・ゴールデンウィークイベント「発掘ミニ体験」4/29～5/6　延べ464人 ・春の自然観察会「身近な野鳥を探してみよう」5/5　18人 ・講座「この木何の木？樹木の名札をつくろう」5/17、6/15　延べ19人 ・講座「ウチダザリガニを探してみよう！」7/21　21人 ・講座「まが玉づくり体験」7/27　32人 ・講座「地質めぐり～川原でいろいろな石を集めよう」9/6　13人 ・講座「古文書教室」9/13、10/19、11/24　延べ20人 ・講座「アイヌ語地名探訪」9/21　8人 ・講座「自然散策inトヨタ士別試験場」9/27　16人 ・講座「これ何？博物館のコレクション」10/12　14人 ・講座「電池を使わない手作りラジオに挑戦しよう」11/2　11人 ・講座「本物の葉っぱでつくるミニツリー」11/30　9人 ・講座「昔の手仕事～稲わらで実子箒づくり体験」12/6　7人 ・士別サイエンスフェスティバル　1/12　73人 ・冬の連休イベント「冬の博物館を楽しもう」2/21～23　延べ46人 ○依頼に応じて各種体験講座、講演等の実施（全28回） ○博物館ボランティア友の会の活動～随時　延べ32人	博物館	3	(4)	④
		特別学芸員調査研究活動事業	261	246	専門的な知識や経験・技能を持つ地域の人材を活用し、士別地方の歴史や自然・文化について調査研究活動を行い、市民に紹介した。 ○特別学芸員　11人	博物館	3	(4)	④
	5 市民文化センター費	文化センター管理運営事業	45,097	44,062	○市民文化センターの利用状況 （下表） ○施設管理経費 ・需用費（消耗品、光熱費、修繕料等）　11,324 ・役務費（通信運搬費、手数料等）　692	市民文化センター			

部屋名	利用件数	利用者数	部屋名	利用件数	利用者数
大ホール	88	8,710	研修室	261	10,172
小ホール	76	3,399	会議室１	238	4,688
ホワイエ	12	1,206	会議室２	204	1,512
楽屋1	57	1,246	会議室３	116	1,081
楽屋2	66	1,537	リハーサル室	301	1,595
楽屋3	45	1,077	音楽室	328	2,317
楽屋4	46	1,105	視聴覚室	212	2,261
シャワー室	0	0	工芸室	137	821
和室１・２	219	2,056	料理室	69	908
和室３	143	870	幼児室	31	203
展示ホール	77	2,329	合計	2,726	49,093

<table>
<tr><th>款　項</th><th>目</th><th>事　業　名</th><th>R6 事業費</th><th>R7 事業費</th><th>事　業　の　概　要</th><th>担　当　部　署</th><th>大綱</th><th>項目</th><th>重点施策</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・委託料(業務委託、保守委託等) 30,717
・使用料及び賃貸料(土地賃借、リース料等) 1,301
・負担金補助及び交付金(団体負担金) 28</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>市民文化センター施設環境整備事業</td><td>2,164</td><td>1,397</td><td>市民文化センターの施設整備を実施した。
・誘導灯器具修繕 429
・FCUコントローラー取替修繕 495
・パワーアンプ購入 473</td><td>市民文化センター</td><td>3</td><td>(1)</td><td>④</td></tr>
<tr><td></td><td>6 生涯学習情報センター管理費</td><td>生涯学習情報センター管理事業</td><td>36,784</td><td>36,271</td><td>○生涯学習情報センター利用状況　（単位：件・人）
<table>
<tr><th>部屋名</th><th>利用件数</th><th>利用者数</th><th>部屋名</th><th>利用件数</th><th>利用者数</th></tr>
<tr><td>市民ギャラリー</td><td>27</td><td>5,508</td><td>託児室</td><td>1</td><td>21</td></tr>
<tr><td>視聴覚室</td><td>155</td><td>2,124</td><td>研修室</td><td>83</td><td>493</td></tr>
<tr><td>控室</td><td>24</td><td>159</td><td>ボランティア活動室</td><td>214</td><td>818</td></tr>
<tr><td>音楽スタジオ</td><td>277</td><td>1,656</td><td>情報処理室</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>録音室</td><td>100</td><td>371</td><td>多目的スペース</td><td>12</td><td>7,344</td></tr>
<tr><td>工房１</td><td>118</td><td>441</td><td>サークル活動室</td><td>77</td><td>431</td></tr>
<tr><td>工房２</td><td>51</td><td>483</td><td>つどいの広場</td><td>250</td><td>2,300</td></tr>
<tr><td>工房３（ウィズ）</td><td>204</td><td>1,232</td><td>図書館</td><td>303</td><td>11,743</td></tr>
<tr><td>計</td><td>956</td><td>11,974</td><td>計</td><td>940</td><td>23,150</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>合計</td><td>1,896</td><td>35,124</td></tr>
</table>
○施設管理経費内訳
・光熱水費 15,588
・委託料 16,941
・事務費等 3,245
・その他設備修繕 497</td><td>生涯学習情報センター</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>生涯学習情報センター整備事業</td><td>1,344</td><td>655</td><td>生涯学習情報センターの施設整備を実施した。
・非常灯ランプ交換 298
・誘導灯交換 156
・LED階段非常灯交換 178
・展示用スポットライト交換 23</td><td>生涯学習情報センター</td><td>3</td><td>(4)</td><td>③</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>生涯学習展示活動事業</td><td>174</td><td>73</td><td>市民が主体となって生涯学習の成果を発表する機会を提供し、創作・創造への関心・意欲を高め、生涯学習の効果的な環境整備と学習機会の充実を図った。
・生涯学習フェスティバル協力団体謝礼 40
・その他消耗品 33</td><td>生涯学習情報センター</td><td>3</td><td>(4)</td><td>③</td></tr>
<tr><td></td><td>8 サンライズホール事業費</td><td>サンライズホール管理運営事業</td><td>77,604</td><td>67,832</td><td>指定管理者制度を活用し、あさひサンライズホールの管理運営を委任した。
指定管理料 65,679
指定管理者　一般社団法人舞藝舎
・修繕料 162
・LED照明リース料 1,954
・AEDリース料 37</td><td>地域文化課</td><td>3</td><td>(4)</td><td>⑤</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>サンライズホール整備事業</td><td>15,455</td><td>69,058</td><td>適切な施設の維持管理を図るため、機械設備等の改修を行った。
・消防用設備改修（非常用照明更新） 6,116
・調整室内空調設備更新 3,762
・冷却系統機器更新 31,570
・屋上防水保護塗装 27,610</td><td>地域文化課</td><td>3</td><td>(4)</td><td>⑤</td></tr>
</table>

款　項	目	事　業　名	R6事業費	R7事業費	事　業　の　概　要	担　当　部　署	大綱	項目	重点施策
6保健体育費	1保健体育総務費	スポーツ合宿推進事業	9,655	9,629	道内外の各実業団・大学等の陸上競技部、さらにはスキー・トライアスロン・バレーボールなど様々な合宿を受入れるとともに、実業団による陸上教室を開催するなど交流人口の拡大を図った。 また、合宿の里士別推進協議会に対して補助を行い、官民一体となって招致活動や各種事業を実施し、合宿の里づくりを推進した。 ・年間合宿団体数　351団体 ・延人数　19,867人	スポーツ推進課	3	(3)	①
		総合型スポーツクラブ推進補助事業	2,350	2,303	士別市総合型地域スポーツクラブ運営委員会が実施する事業に対して補助を行い、市民の生涯スポーツ推進を図った。	スポーツ推進課	3	(3)	①
		スポーツイベント開催事業	13,333	17,074	各種スポーツ大会を開催し、道内外から広く参加者を募り、交流人口の増加による地域の活性化や市民スポーツの振興を図った。 1　ホクレン・ディスタンスチャレンジ2025士別大会 ・事業主体　ディスタンスチャレンジ大会士別市実行委員会 ・開催日　令和7年6月14日(土) ・参加者数　181人（エントリー数　215人） ・事業費　1,510 ・補助額　876 2　第38回サフォークランド士別ハーフマラソン大会 ・事業主体　士別ハーフマラソン大会実行委員会 ・開催日　令和7年7月13日(日) ・参加者数　1,481人（エントリー数　1,629人） ・事業費　22,101 ・補助額　11,870 3　第43回サマージャンプ朝日大会兼ジュニアサマージャンプ朝日大会 ・事業主体　朝日スキーイベント実行委員会 ・開催日　令和7年7月23日（水）・24日(木) ・参加者数　147人（エントリー数　155人） ・事業費　3,318 ・補助額　1,981 4　第32回サマーコンバインド朝日大会 ・事業主体　朝日スキーイベント実行委員会 ・開催日　令和7年7月25日(金) ・参加者数　56人（エントリー数　62人） ・事業費　1,300 ・補助額　824 5　2025合宿の里士別ジュニアサマージャンプ交流大会 ・事業主体　朝日スキーイベント実行委員会 ・開催日　令和7年9月13日(土) ・参加者数　21人（エントリー数　22人） ・事業費　414 ・補助額　359 6　第28回朝日ノルディックスキー大会 ・事業主体　朝日スキーイベント実行委員会 ・開催日　令和7年12月26日(金)、27日(土) ・参加者数　217人（エントリー数　260人） ・事業費　1,537 ・補助額　831	スポーツ推進課	3	(3)	①

款　項	目	事　業　名	R6 事 業 費	R7 事 業 費	事　　業　　の　　概　　要	担　当　部　署	大綱	項目	重点施策
					7　第99回全日本学生スキー選手権大会 ・事業主体　朝日スキー連盟 ・開催日　　令和８年２月22日(日) ・参加者数　72人（エントリー数　85人） ・事業費　1,248 ・補助額　198 8　第72回高校総体ウエイトリフティング北海道予選会等 ・事業主体　北海道ウエイトリフティング協会 ・開催日　　令和７年６月７日（土） ・参加者数　61人 ・事業費　586 ・補助額　45 9　第69回全日本軟式野球大会（１部・２部）北・北海道大会 ・事業主体　北海道軟式野球連盟 ・開催日　　令和７年６月21日（土）～23日（月） ・参加ﾁｰﾑ　27チーム ・事業費　1,802 ・補助額　45 10　第79回国スポ大会ウエイトリフティング北海道ブロック予選会等 ・事業主体　士別ウエイトリフティング協会 ・開催日　　令和７年８月16日（土）～17日（日） ・参加者数　63人 ・事業費　290 ・補助額　45				
		市民スポーツ振興事業	25,690	26,597	市民がスポーツに参加する機会を創出し、市民スポーツの普及を図るとともに、各種大会の実施による競技スポーツの振興を図った。 また、スポーツ団体に補助を行い、各種事業を実施した。 ・士別市スポーツ協会事務局体制強化事業補助金　20,972 ・士別市スポーツ協会運営補助金　1,500 ・士別市スポーツ協会青少年運動能力向上事業補助金　720 ・朝日町スポーツ協会主催事業開催補助金　192 ・朝日町スポーツ協会加盟団体活動事業補助金　440 ・市民クロスカントリー大会　239 ・実業団陸上教室　142 ・各種全国大会派遣奨励金　1,045 ・オリンピアン教室　210 ・スポーツウィーク2025事業補助金 　事業主体　士別スポーツウィーク実行委員会 　開催日　　令和７年６月13日(金)～22日（日） 　参加者数　スポーツウィーク期間の取り組み　610人 　　オリパラフェスティバル　262人 　事業費　1,505 　補助額　1,064 ・懸垂幕(高校総体ウエイトリフティング男子学校対抗戦優勝)　73	スポーツ推進課	3	(3)	①
		児童・生徒大会参加交通費助成事業	672	472	市内の小・中学生の文化及びスポーツ活動を推進するため、道内各種大会等に出場する際の交通費の一部を助成した。 ・助成件数　９件	スポーツ推進課	3	(3)	①

款　項	目	事　業　名	R6 事 業 費	R7 事 業 費	事　業　の　概　要	担　当　部　署	大綱	項目	重点施策
	6 体育施設管理費	朝日農業者トレーニングセンター管理事業	13,804	13,260	指定管理者制度を活用し、朝日農業者トレーニングセンターの管理運営を委任した。 ・指定管理料　12,901 指定管理者　株式会社翠月 ・利用人数　12,734人 ・廊下床材張り替え修繕　198 ・低酸素ルーム消耗品　118 ・その他管理費　43	スポーツ推進課			
		体育施設整備事業	2,757	3,336	体育施設整備を進め、施設利用者の市民や合宿者の環境改善を図った。 ・グリーンスポーツ管理棟裏口鍵修繕　14 ・ふどうテニスコートラインテープ整備　433 ・朝日クロスカントリースキーコース地滑り補修　363 ・ふどう野球場バックネット補修　539 ・南郷プール事務室冷房設置工事　517 ・南郷プールプールフロア購入　1,224 ・ふどうテニスコート備品購入（支柱、ネット）　246	スポーツ推進課	3	(3)	①
		陸上競技場整備事業 【新規】	－	148,153	陸上競技場の大規模改修を実施した。 ・陸上競技場改修工事　148,153	スポーツ推進課	3	(3)	①

資料3-1

2025 年度　あさひサンライズホール利用実績

上段：利用回数／下段：利用者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	稼働率（%）
	22	22	21	23	30	26	23	21	24	24	18	24	278	利用回数÷開館回数
こだまホール　合計	16	19	17	28	30	20	15	13	18	20	10	12	**218**	**78.4%**
	149	237	66	378	1,147	426	129	262	205	289	299	122	**3,709**	

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	稼働率（%）
	22	22	21	23	30	26	23	21	24	24	18	24	278	利用回数÷開館回数
テシウシの間　合計	11	10	10	26	22	14	11	12	10	6	10	14	**156**	**56.1%**
	343	205	202	491	362	287	206	518	144	146	180	285	**3,369**	
研修室A	1	0	0	8	21	3	3	6	5	11	6	6	**70**	**25.2%**
	15	0	0	155	151	96	5	8	6	139	16	63	**654**	
研修室B	2	0	0	3	28	4	2	2	18	8	2	3	**72**	**25.9%**
	30	0	0	120	427	156	50	19	142	136	10	60	**1,150**	
和室　合計	4	1	6	4	3	6	8	3	2	3	4	3	**47**	**16.9%**
	32	4	118	30	26	126	70	97	8	25	48	23	**607**	
調理実習室	2	1	3	3	3	5	4	3	3	3	4	6	**40**	**14.4%**
	70	40	30	60	102	146	95	25	26	31	48	133	**806**	
会議室	1	1	6	8	3	5	3	4	4	6	3	2	**46**	**16.5%**
	5	5	50	58	21	50	70	52	35	67	25	25	**463**	
文化サークル室	0	0	0	2	10	0	0	3	3	7	4	4	**33**	**11.9%**
	0	0	0	20	10	0	0	12	12	16	16	16	**102**	
美術工芸室	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	**1**	**0.4%**
	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	**5**	
視聴覚室	5	7	4	11	8	5	5	5	6	5	8	6	**75**	**27.0%**
	60	78	48	198	113	49	60	53	65	56	41	57	**878**	

ホール各部屋利用回数計	42	39	46	93	128	62	51	52	69	69	51	56	758	
ホール各部屋利用者数計	704	569	514	1,510	2,359	1,336	685	1,051	643	905	683	784	**11,743**	
利用者数計	704	569	514	1,510	2,359	1,336	685	1,051	643	905	683	784	**11,743**	**1,081,330**

※12/29～1/3まで年末年始閉館のため全館使用不可

令和7年度　朝日郷土資料室開拓資料展示室利用実績表

【郷土資料室分】

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計	前年度
幼　児	1人		1人		1人	1人	2人						6人	11人
小学生					1人	7人						1人	9人	1人
中学生	1人				2人	2人		2人					7人	1人
高校生													人	3人
一　般	20人	15人	18人	25人	26人	41人	18人	18人	17人	19人	36人	26人	279人	402人
個人来室合　計	22人	15人	19人	25人	30人	51人	20人	20人	17人	19人	36人	27人	301人	418人

利用団体	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計	前年度
来室団体数	5団体	9団体	7団体	3団体	1団体	4団体	2団体	1団体	2団体	1団体	1団体	2団体	38団体	44団体
来室団体　人数合計	30人	40人	41人	17人	6人	53人	15人	4人	9人	4人	4人	8人	231人	406人

利用者合計（個人＋団体）	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計	前年度
	52人	55人	60人	42人	36人	104人	35人	24人	26人	23人	40人	35人	532人	824人

年間開室日数	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計	前年度
	9日	10日	9日	9日	9日	11日	9日	9日	8日	8日	8日	10日	109日	102日

資料３-２

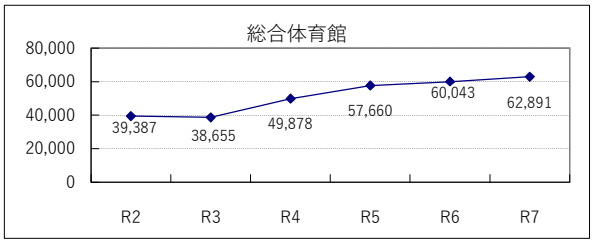
士別市スポーツ施設利用状況

令和８年３月31日現在

※年度ごとの利用人数を記載しています。

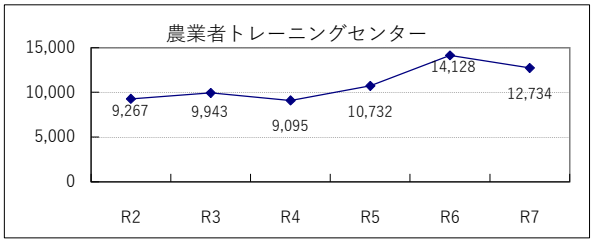
・総合体育館

R2	R3	R4	R5	R6	R7
39,387	38,655	49,878	57,660	60,043	62,891



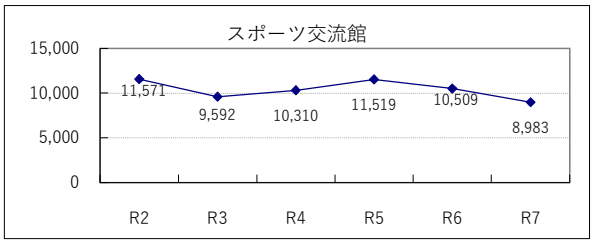
・農業者トレーニングセンター

R2	R3	R4	R5	R6	R7
9,267	9,943	9,095	10,732	14,128	12,734



・スポーツ交流館

R2	R3	R4	R5	R6	R7
11,571	9,592	10,310	11,519	10,509	8,983



・陸上競技場

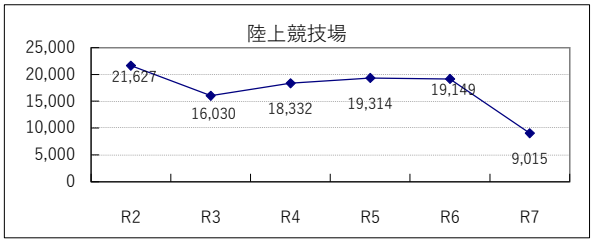
R2	R3	R4	R5	R6	R7
21,627	16,030	18,332	19,314	19,149	9,015

特記事項

・R7:雪解け状況により、オープンは4/26（土）

・R7:9月から改修工事が実施された

・R7:定期利用団体の所属人数が減少。

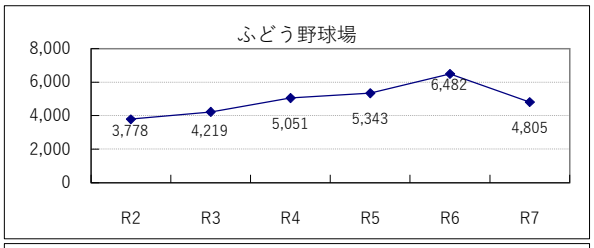


・ふどう野球場

R2	R3	R4	R5	R6	R7
3,778	4,219	5,051	5,343	6,482	4,805

特記事項

・R7:雪解け状況により、オープンは4/26（土）

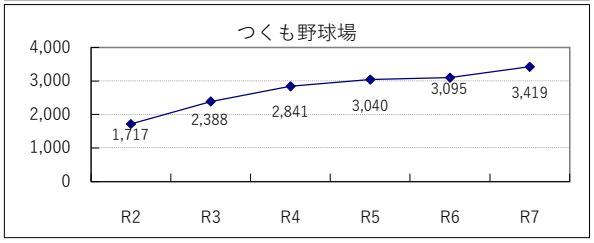


・つくも野球場

R2	R3	R4	R5	R6	R7
1,717	2,388	2,841	3,040	3,095	3,419

特記事項

・R7:オープンは5/1（木）



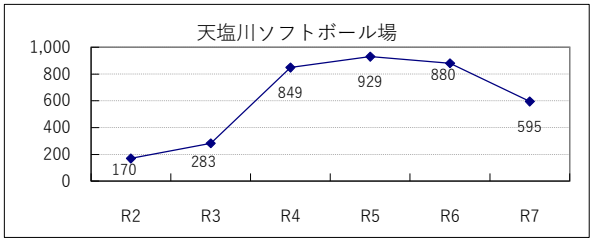
・天塩川ソフトボール場

R2	R3	R4	R5	R6	R7
170	283	849	929	880	595

特記事項

・R7:雪解け状況により、オープンは4/26（土）

・R5: 2 面から 1 面となった。（関係団体協議済み）

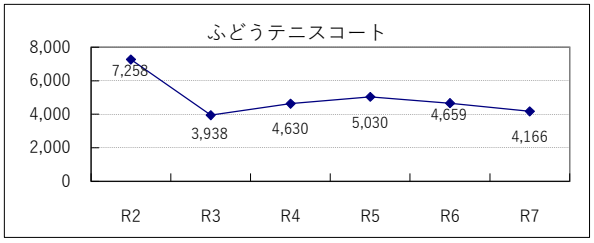


・ふどうテニスコート

R2	R3	R4	R5	R6	R7
7,258	3,938	4,630	5,030	4,659	4,166

特記事項

・R7:雪解け状況により、オープンは4/26（土）



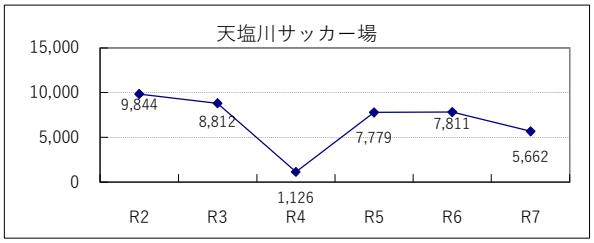
・天塩川サッカー場

R2	R3	R4	R5	R6	R7
9,844	8,812	1,126	7,779	7,811	5,662

特記事項

・R7:雪解け状況により、オープンは4/26（土）

・R4:R3の日照りにより、芝養生のため利用制限。（サッカークラブからの提案）

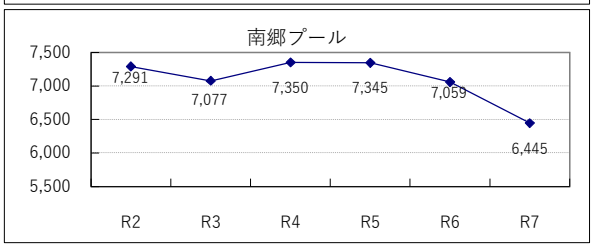


・南郷プール

R2	R3	R4	R5	R6	R7
7,291	7,077	7,350	7,345	7,059	6,445

特記事項

・R7営業期間：6/9（月）～9/23（火・祝）

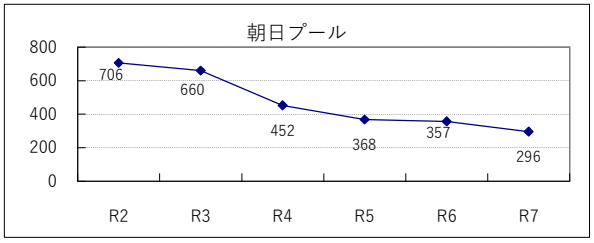


・朝日プール

R2	R3	R4	R5	R6	R7
706	660	452	368	357	296

特記事項

・R7営業期間：6/28（土）～8/17（日）



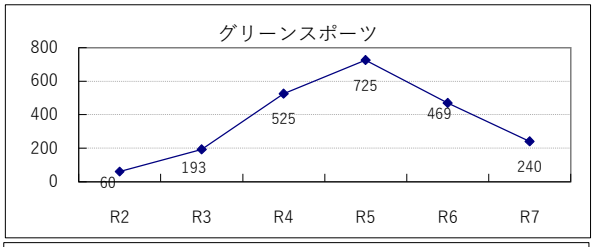
・グリーンスポーツ

R2	R3	R4	R5	R6	R7
60	193	525	725	469	240

特記事項

・R7:オープンは5/1（木）

・しらかばロッジ及びキャンプ場の利用者数

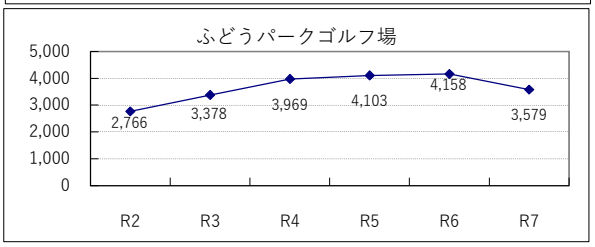


・ふどうパークゴルフ場

R2	R3	R4	R5	R6	R7
2,766	3,378	3,969	4,103	4,158	3,579

特記事項

・R7:雪解け状況により、オープンは4/26（土）

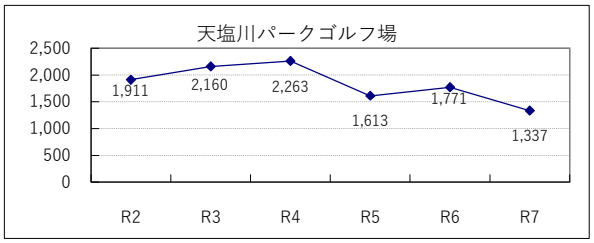


・天塩川パークゴルフ場

R2	R3	R4	R5	R6	R7
1,911	2,160	2,263	1,613	1,771	1,337

特記事項

・R7:雪解け状況により、オープンは4/26（土）

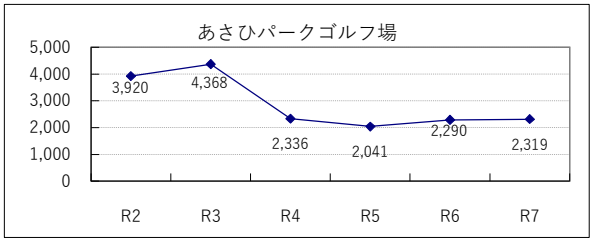


・あさひパークゴルフ場

R2	R3	R4	R5	R6	R7
3,920	4,368	2,336	2,041	2,290	2,319

特記事項

・R7:雪解け状況により、オープンは4/26（土）



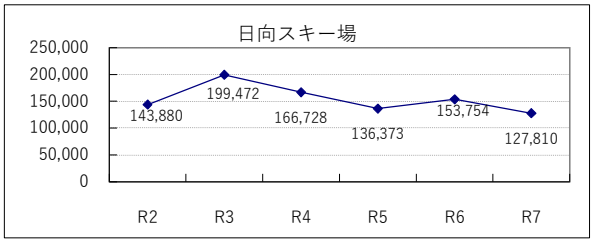
・日向スキー場

R2	R3	R4	R5	R6	R7
143,880	199,472	166,728	136,373	153,754	127,810

特記事項

・輸送人数の集計

・R7営業期間：12/12（金）～3/22（日）



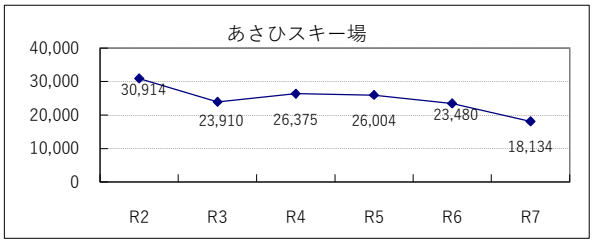
・あさひスキー場

R2	R3	R4	R5	R6	R7
30,914	23,910	26,375	26,004	23,480	18,134

特記事項

・輸送人数の集計

・R7営業期間：12/20（土）～3/22（日）



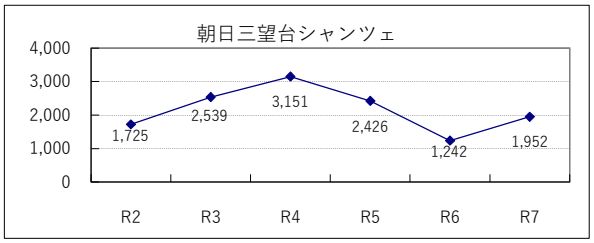
・朝日三望台シャンツェ

R2	R3	R4	R5	R6	R7
1,725	2,539	3,151	2,426	1,242	1,952

特記事項

・R7:オープンは5/1（木）

・R6:改修工事のため、夏期間の営業なし

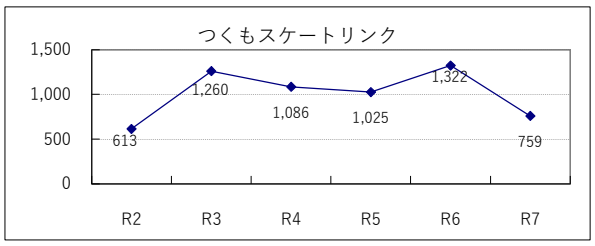


・つくもスケートリンク

R2	R3	R4	R5	R6	R7
613	1,260	1,086	1,025	1,322	759

特記事項

・R7営業期間：1/12（月・祝）～2/24（火）

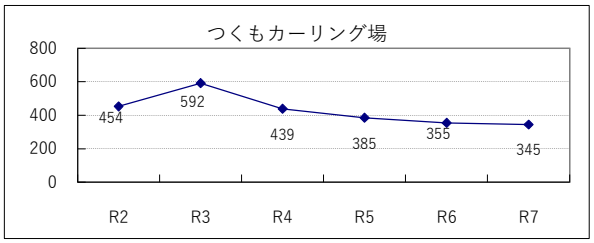


・つくもカーリング場

R2	R3	R4	R5	R6	R7
454	592	439	385	355	345

特記事項

・R7営業期間：1/19（月）～2/18（水）



中央公民館事業　報告・計画

①番号	②事業名	③担当	④事業内容	⑤対象	R７実績 ⑥参加人数 実施回数	R７実績 ⑦実績	R７実績 ⑧予算（千円）	R７実績 ⑧決算（千円）	R７実績 ⑩予算残 ⑧－⑨	R７実績 ⑪成果・課題	R８実績 ⑫想定人数/回数	R８実績 ⑬予算（千円）	R８実績 ⑭前年予算差⑬－⑩	R８実績 ⑮実績
1．生涯学習推進事業							**1,730**	**985**	**745**			**1,587**	**▲ 143**	
（１）公民館講座推進事業							**373**	**176**	**197**			**262**	**▲ 111**	
	中央公民館 公民館講座	中央 公民館	現代社会に即応した各種講座を開催し、既存文化団体の育成や新たなサークルの結成を促進するとともに、市民活動や文化活動を通じて市民交流を図る。	全市民	延べ 94人	①スマートフォン活用講座【学び舎つくも合同講座】（7/24・2名） ②足もとからみる膝と腰の痛み【学び舎つくも合同講座】（12/16・15名） ③親子で参加する公民館講座 【26組・63名】 ・クリスマスケーキ作り教室 （12/8・10組24人） ・レジンとプラバンで小物作り教室 （12/13・10組22名） ・そば打ち体験教室（1/17・8組25人） ・墨絵アート教室（1/24・3組6人 ）	**373**	**176**	**197**	【成果】 市民の生活や健康に関わる講座を提供できた。 親子で参加する公民館講座では、多くの若い世代に参加していただき公民館に興味を持ってもらうきっかけになったと思われる。 【課題】 一時的な体験活動が主であり、サークル発足に繋がるような講座となっていない。	4講座 60人	**262**	**▲ 111**	①認知症の人と家族（学び舎つくも合同講座）8/5　参加者　52名（学び舎つくも参加者含む）
（２）子ども文化活動推進事業							**99**	**68**	**31**			**136**	**37**	
	子ども文化活動推進事業 士別ふるさと体験広場 文化体験コース	中央 公民館	士別市ふるさと体験広場を開催し、子どもに文化や芸術、職業体験等に関する学習機会を提供。 中央公民館主管事業として、地元文化団体等の協力を得ながら、士別市の文化体験講座を開催。 参考:他の事業 社会教育主管「職業体験ｺｰｽ」 博物館主管　「自然歴史体験ｺｰｽ」	小学 ４～６ 年生	延べ 59人 計5回 (1回中止)	中央公民館主管:文化体験ｺｰｽ 年6回 ・木彫り体験（6/21・13人） ・フラワーアレンジメント体験（7/30・11人） ・七宝体験（8/4・14人） ・油絵体験（9/13・11人、10/5・10人） ・吹奏楽体験（11/30→中止）	**99**	**68**	**31**	【成果】 文化芸術活動などの体験を通して、芸術文化の魅力や歴史を学び子どもの健全育成が図られた。 【課題】 ・開催日や開催場所の課題。 ・児童に対する危機管理。	延べ 60人	**136**	**37**	【文化体験コース】 全体募集　17名・各講座選択制 第１回　7/23　木彫り体験　11名 第２回　7/30　料理体験　15名 第３回　8/6　羊毛工芸体験　13名
（３）高齢者学習推進事業							**878**	**492**	**386**			**809**	**▲ 69**	
	高齢者学習推進事業 学び舎「つくも」	中央 公民館	「集い・学び・交流」をとおして高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、同世代の広い繋がりを構築することを目的として、基礎講座と自主企画活動を実施する。	60歳 以上 の市民	延べ 814人	・体験コース　10回 ・教養コース　10回 ・くらしコース　10回 計　30回	**878**	**492**	**386**	【成果】 高齢者にとって有意義な学びと交流の機会を提供 【課題】 目新しい講座の提供	延べ 1,000人	**809**	**▲ 69**	体験・教養ｺｰｽ　3回 くらしコース　2回　延べ218名
（４）子どもの学習・生活習慣定着推進事業							**380**	**249**	**131**			**380**	**0**	
	子どもの学習・生活習慣定着推進事業 ﾁｬﾚﾝｼﾞｽｸｰﾙ補助事業	中央 公民館	望ましい生活習慣・学習習慣定着を目指して、2泊3日の宿泊体験活動を実施する。 参考:他の事業 社会教育主管「チャレンジ寺子屋」 ※夏休み・冬休み期間中の学習活動を実施	小学 4年生	13人	10/5～10/7の期間、朝日山村研修施設で実施	**380**	**249**	**131**	【成果】 地域人材による子どもの育成を図る事ができた。 【課題】 参加者数の減少	20人	**380**	**0**	

中央公民館事業　報告・計画

①番号	②事業名	③担当	④事業内容	⑤対象	Ｒ７実績 ⑥参加人数 実施回数	Ｒ７実績 ⑦実績	Ｒ７実績 ⑧予算（千円）	Ｒ７実績 ⑧決算（千円）	Ｒ７実績 ⑩予算残 ⑧－⑨	Ｒ７実績 ⑪成果・課題	Ｒ８実績 ⑫想定人数/回数	Ｒ８実績 ⑬予算（千円）	Ｒ８実績 ⑭前年予算差⑬－⑩	Ｒ８実績 ⑮実績
２．市民学習自主企画支援事業							**229**	**45**	**184**			**0**	**0**	
（１）市民自主企画事業（マイプラン・マイスタディ）							**229**	**45**	**184**			**0**	**0**	
	市民自主企画事業 （ﾏｲﾌﾟﾗﾝ･ﾏｲｽﾀﾃﾞｨ）	中央公民館	市内の各種団体やサークルが、市民を対象に自主的に企画した学習事業費の一部を支援し、学習機会の拡大及び団体等の活性化を図る。	市民団体等	3団体 205人	①主催団体：ななかまど会 実施月日：４月14日（会員12人、一般９人） 総事業費：17,600円 支援内容：講師謝礼　5,000円 事務消耗品 12,600円 ②主催団体：戦争をさせない2025士別市民集会実行委員会 実施月日：８月19日（会員20人、一般132人） 総事業費：81,289円 支援内容：事務消耗品 13,552円 ③主催団体：しべつ音楽を楽しむみんなの会 実施月日：10月5日（会員13人、一般19人） 総事業費：25,839円 支援内容：講師謝礼 14,000円	**229**	**45**	**184**	【成果】 学習機会の拡大及び団体等の活性化に寄与。 【課題】 令和7年度をもって事業廃止				事業廃止
３．市民総合文化祭事業							**281**	**268**	**13**			**228**	**▲ 53**	
（１）市民総合文化祭							**281**	**268**	**13**			**228**	**▲ 53**	
	市民総合文化祭 中央地区会場	中央公民館	市民が日常で取り組む文化活動の学習成果の発表と作品を鑑賞する機会を提供するために市民総合文化祭を開催し、市民の文化活動に対する意識を高め、地域文化の向上を図る。	市民団体等 小・中・高校生	来場者 約1,700人 R6 約1,700人	・10/31～11/4 作品展示 23団体・4個人 448点 （R6年度566点） ・11/3 芸能発表 24団体・個人 141人出演 （R6年度91人） ・10/22 小中学校音楽発表会 大ホール ・10/24～11/4 児童生徒作品展示 （共催:士別市教育研究会） 絵画・毛筆など 139点 （R6年度 174点）いぶき	**281**	**268**	**13**	【成果】 文化芸能団体が日々の活動を発表する有意義な機会を提供。 また、新規団体の参加も見られた。 【課題】 参加団体の高齢化。	1,500人	**228**	**▲ 53**	

中央公民館事業　報告・計画

①番号	②事業名	③担当	④事業内容	⑤対象	R７実績 ⑥参加人数 実施回数	R７実績 ⑦実績	R７実績 ⑧予算（千円）	R７実績 ⑧決算（千円）	R７実績 ⑩予算残 ⑧－⑨	R７実績 ⑪成果・課題	R８実績 ⑫想定人数/回数	R８実績 ⑬予算（千円）	R８実績 ⑭前年予算差⑬－⑩	R８実績 ⑮実績
４．子どもまちづくり参画事業							**223**	**157**	**66**			**296**	**73**	
（１）子ども議会開催事業							**187**	**157**	**30**			**286**	**99**	
	子ども議会開催事業	中央公民館	中学生を対象とした「子ども議会」を「子ども議会～チャレンジ応援事業～」に変更。 中学生の日常生活や学校生活における身近な課題の解決策を市に発表する形式とし、子どもたちがそのアイディアを実践する中で、より達成感を高めながら自主性を育む学びとなるよう事業内容の充実に努める。	中学生	士中 2人 南中 3人 上中 1人 朝中 2人	市内中学校から8人参加 ・子ども議員任命式　7/1 ・学習会 13回開催　7/1～11/14 ・実践内容 とっとこin士別ウォーク＆士別知識 王決定戦（お祭り、クイズ大会、ウォークラリーの合体企画） ・子ども議会実践報告会 11/17	**187**	**157**	**30**	【成果】 子どもたちが自らが、身近な課題を考え、実施することの難しさを学び、次への課題を考える機会と周囲のサポートの大切を実感するなど、子ども議員として参加した生徒の資質向上が図られた。 【課題】 ・実践規模については、昨年度ほど大きなものとはならなかったが、内容がイベントとなったため、準備等のため学習会回数も想定よりも多くなってしまった。 また、目的であった子ども議員のみでの実践活動には至らなかった。	10人程度	**286**	**99**	市内中学校から8人参加 ・子ども議員任命式・第1回学習会 7/22 ・第2回学習会　8/7
（２）こども夢トーク推進事業							**36**	**0**	**36**			**10**	**▲ 26**	
	こども夢トーク事業	中央公民館	子どもたちが市長、教育長と夢や未来への希望を語り、好奇心・探究心を高め、子どもたちの持つ豊かな可能性を広げる。	上小児童 10人 南中生徒 35人	上小児童 10人 南中生徒 35人	2/5 上士別小学校 内容:子どもたちが市長・教育長へ夢、生活の中における要望を伝えた。 2/6 士別南中学校 内容:市長・教育長がまちづくりに関する夢を生徒に語り、生徒が自分の願いを市長・教育長に伝えた。	**36**	**0**	**36**	【成果】 子どもの自由な発想によるアイデアを市長、教育長と語り合い、有意義な交流の場とする事ができた。 【課題】 開催時期の調整	2校	**10**	**▲ 26**	
５．団体育成・支援事業							**700**	**550**	**150**			**700**	**0**	
（１）子どもの体験活動の充実と望ましい生活習慣の定着（社会教育課・中央公民館）							**700**	**550**	**150**			**700**	**0**	
	子ども会育成連絡協議会補助事業費	中央公民館	子ども会の事業を推進する士別市子ども会育成連絡協議会に対し、運営事業費の一部を補助する。	士別市子ども会育成連絡協議会	会員数 853人 小学生 542人 中学生 311人	【士子連の主な事業】 ・第26回しべつわんぱくﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ（約1,500人 5/18） ・子ども会交流会 ・北海道かるた大会出場 ・資金造成カクテルパーティー ・ふれあい広場協力 ・チャレンジスクール協力 ・地区子ども会支援 （中央、上士別、多寄、温根別、朝日）	**700**	**550**	**150**	【成果】 子どもたちの健全育成を図る事ができた。 【課題】 単位子ども会の活動停滞	会員数 813人 小学生 512人 中学生 301人	**700**	**0**	・第27回しべつわんぱくﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ（約1,500人 5/17） ・ふれあい広場協力

中央公民館事業　報告・計画

①番号	②事業名	③担当	④事業内容	⑤対象	Ｒ７実績 ⑥参加人数 実施回数	Ｒ７実績 ⑦実績	Ｒ７実績 ⑧予算（千円）	Ｒ７実績 ⑧決算（千円）	Ｒ７実績 ⑩予算残 ⑧－⑨	Ｒ７実績 ⑪成果・課題	Ｒ８実績 ⑫想定人数/回数	Ｒ８実績 ⑬予算（千円）	Ｒ８実績 ⑭前年予算差⑬－⑩	Ｒ８実績 ⑮実績
７．中央公民館分館事業							**384**	**276**	**108**			**384**	**0**	
（１）中士別分館							**128**	**72**	**56**			**128**	**0**	
	中士別分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	民謡 延べ 69人 計17回 PG 延べ 65人 計7回	・民謡講習会 R7.4月～R8.3月 中士別公民館分館内（自治会館） ・パークゴルフ講習会 R7.6月～R8.3月 天塩川PG、多寄農村広場 ほか	**128**	**72**	**56**	【成果】 各講座への開催により、中士別地区内の市民交流と親睦に寄与。 【課題】 ・令和８年度をもって廃止予定	民謡 20回 80人 PG 8回 80人	**128**	**0**	・民謡講習会　4月～6月 5回　延べ22名 ・パークゴルフ講習会　6月～7月 3回　延べ25名
（２）下士別分館							**128**	**75**	**53**			**128**	**0**	
	下士別分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	PG 延べ 36人 計２回 講習会 延べ 21人 計１回	・広報誌「つながり」 R7.4月～R8.2月 13回発行 ・パークゴルフ講習会 6/1(16人) 天塩川PG ・パークゴルフ大会 7/5(20人) 天塩川PG ・しめ縄作り講習会 12/21(21人) 下士別二之宮八幡神社	**128**	**75**	**53**	【成果】 各講座への開催により、下士別地区内の市民交流と親睦に寄与。 【課題】 ・少子高齢化、参加者数の減少。 ・事業実施の停滞。	PG 2回 40人 講習会 １回 15人	**128**	**0**	・広報誌「つながり」発行 4月・6月・7月 ・パークゴルフ講習会　6/7　19名 ・パークゴルフ大会　7/4　20名
（３）武徳分館							**128**	**129**	**▲ 1**			**128**	**0**	
	武徳分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	講習会 延べ 70人 計7回	・広報「武徳」 R7.4月～R8.3月　12回発行 ・料理講習会　11/14（ 8人） ・ストレッチ講座　11/20（10人） ・ヨガ瞑想体験会　11/20（10人） ・町民交流会　１/18（14人） ・物作り講習会　１/23（ 8人） ・料理講習会　２/14（10人） ・卓球ルール講習会　２/25（10人）	**128**	**129**	**▲ 1**	【成果】 各講座への参加により、武徳地区内の市民交流と親睦が図られた。 【課題】 少子高齢化、参加者数の減少。	講習会 200人 計9回	**128**	**0**	・広報「武徳」4月～7月発行

資料４－２

令和７年度　上士別公民館事業経過

実施日	行事の内容	場所	人数	主催等	備考
4月9日	サケの稚魚放流体験	大和地区 銀川	34名	公民館・上士別小学校	館長、大和分館長 来賓：山居議長、中山議員
6月24日	ボッチャ教室	構造改善センター（大会議室）	13名	公民館	講師：社会福祉協議会　玉置氏
7月29～31日（３日間）	子ども水泳教室	南郷プール	延べ34名	上子連　公民館 スポーツクラブ	指導：士別市水泳協会
8月6日	博物館出前講座 昔のあそび体験	構造改善センター 大会議室、公園	13名	公民館	博物館出前講座 中村学芸員、奥崎実習生
1月14日	上子連親睦交流会	旭川市科学館 ラウンドワン	45名	上子連　公民館 スポーツクラブ	４地区合同講座 上士別24名 参加：多寄３名、温根別18名
中止	地区公民館合同講座 （温根別公民館主催）	温根別 生活改善センター	未実施	地区公民館合同開催	
10月20日	地区公民館合同講座 木工クラフト体験教室 （上士別公民館主催）	構造改善センター （大会議室）	14名	地区公民館合同開催	上士別９名、多寄３名、温根別２名
11月1日	町民文化祭　作品展示・お茶席	構造改善センター	95名	公民館	出展者26件、出展328点
11月3日	町民文化祭　芸能発表		230名	公民館	９団体、93名の発表
12月8日	地区公民館合同講座 リース・ガーランド教室 （多寄公民館主催）	多寄研修センター	17名	地区公民館合同開催	上士別３名、多寄８名、温根別４名、朝日２名
2月16日	地区公民館合同講座 クレープ教室 （朝日公民館主催）	あさひサンライズホール	14名	地区公民館合同開催	講師：三好真紀子氏 上士別２名、多寄４名、温根別２名、朝日６名
3月5日	~~ボッチャ教室~~ バルシューレ教室	構造改善センター （大会議室）	７名	公民館 士別市スポーツ協会	講師：一般財団法人SLDI辻本氏
1月6～20日（３日間）	子どもスキー教室	朝日スキー場	延べ29名	上子連　公民館 スポーツクラブ	指導：朝日スキー連盟
1月13日	公民館講座 木工クラフト体験教室	構造改善センター （大会議室）	11名	公民館	講師：順工房　塚本氏
2月8日	町民冬季スポーツの集い	上士別小・中学校体育館	延べ46名	スポーツクラブ 体育協会　公民館	卓球：子ども11名、大人7名 ミニバレー：子ども1名、大人27名
3月10日	料理教室	構造改善センター （調理室）	９名	公民館	講師：川南料理愛好会 中島氏、玉置氏
1月23日	（新）そば打ち教室	構造改善センター （大会議室）	６名	公民館	講師：上士別町そば打ち愛好会 胡摩崎氏
毎月	公民館だより発行		12回	公民館	

令和７年度　上士別公民館分館事業経過

≪川南分館≫

実施日	事　業　名　等	場　所	参加人数	備　考
未実施	川南分館運営委員会		－	
5月1日	地域環境整備事業	川南地区	46名	ゴミ拾い
8月5日	川南地区親睦の夕べ	川南グラウンド	80名	地域世代交流
未実施	川南地区料理講習会		－	

≪成美分館≫

実施日	事　業　名　等	場　所	参加人数	備　考
6月7日	成美分館環境整備事業	成美地区	16名	ゴミ拾い
8月9日	大和・成美親睦会	大和自治会館	90名	
未実施	しめ縄つくり講習会		－	
8月24日	成美分館運営委員会	成美分館	9名	
2月1日	成美分館環境整備事業	成美分館	3名	除雪、雪下ろし

≪大和分館≫

実施日	事　業　名　等	場　所	参加人数	備　考
5月9日	大和地区清掃事業	大和地区全域	15名	ゴミ拾い
6月6日	春の環境整備事業	神社、自治会館	20名	草刈り、花壇整備
8月9日	大和・成美親睦会	大和自治会館	90名	
9月4日	秋の環境整備事業	神社、自治会館	19名	草刈り

令和８年度　上士別公民館事業計画

実施日	行事の内容	場所	人数	主催等	備考
4月16日	サケの稚魚放流体験	大和地区 銀川	37名	公民館・上士別小学校	部長、館長、渡辺主事 来賓：議会議長、建設管理部他
6月2日	成年後見制度講習会・ボッチャ教室	構造改善センター(和室/大会議室)	14名	公民館	講師：社会福祉協議会　玉置氏、成年後見　嶋崎氏
7月28～30日（３日間）	子ども水泳教室	南郷プール	延べ29名	上子連 公民館 スポーツクラブ	指導：士別市水泳協会 延べ９名
8月5日	博物館出前講座 昔のあそび体験	構造改善センター(和室/大会議室)	16名	公民館　上子連	博物館出前講座 学芸員　中村、前田
８月	ソープフラワーアレンジメント教室 （温根別公民館主催）	温根別生活改善センター	15名	４地区公民館合同開催	上士別１名、多寄３名、温根別８名、朝日３名
夏休み	３地区合同 子ども親睦交流会	札幌市青少年科学館	18名	上子連 公民館	上士別18名、多寄0名、 朝日0名
10月	４地区公民館合同講座 木工クラフト体験教室 （上士別公民館主催）	構造改善センター（大会議室）		地区公民館合同開催	教養講座の一環として実施
11月1日	町民文化祭　展示・お茶席	構造改善センター		公民館	町民の作品展示
11月3日	町民文化祭　芸能発表			公民館	町民の舞踊・歌などの発表
12月	そば打ち教室	構造改善センター		公民館	教養講座の一環として実施
冬休み	バルシューレ教室	構造改善センター（大会議室）		公民館 上子連	生涯学習スポーツとし地域に根ざすことを目的として開催
冬休み	子どもスキー教室	市内スキー場		公民館 上子連 スポーツクラブ	スキー技術の向上と体力づくりを目的として実施
１月	公民館講座 木工クラフト体験教室	構造改善センター（大会議室）		公民館	教養講座の一環として実施
２月	町民冬季スポーツの集い	上士別小・中学校体育館		スポーツクラブ 体育協会 公民館	町民の親睦交流と冬期間の運動不足解消を目的として開催
３月	料理教室	構造改善センター（調理室・研修室）		公民館	教養講座の一環として実施
未定	４地区公民館合同講座 リースづくり教室 （多寄公民館主催）	多寄研修センター		地区公民館合同開催	教養講座の一環として実施
未定	４地区公民館合同講座 （朝日公民館主催）	未定		地区公民館合同開催	教養講座の一環として実施
毎月	公民館だより発行			公民館	地域の話題や事業案内などを掲載

資料４－３

令和７年度　多寄公民館事業実績

●実施した事業

事業名	新規 継続	実施月日	会　　場	回数	参加人数	事業内容等
多寄子ども会前期事業（親子視察研修）	継続	7/28	旭川市	1	20	日本醤油工業株式会社工場、イオン旭川西を視察。※バス使用料：市負担。
手話講座	継続	7/23,30,8/6	研修センター	3	10	士別手話サークルに講師を依頼。基本的な手話を習得した。
多寄子ども会ラジオ体操会	継続	7/24～8/19	各家庭、１日のみ集合	1	22	夏休み期間の規則正しい生活リズム、運動習慣の維持。
陶芸教室	新規	8/28,9/11,18	研修センター	3	6	多寄陶芸クラブに講師を依頼。基本的な陶芸技術を学んだ。
プラバンとレジンでオリジナル小物を作ろう	継続	10/22	研修センター	1	8	まちづくり士別(株)に講師依頼。アクセサリー製作。
多寄地区文化祭	継続	11/1	研修センター	1	164	作品展示143点、お茶会72人、芸能発表5団体実施。
クリスマスリース・ガーランドづくり教室	継続	12/8	研修センター	1	17	【4地区館合同講座：多寄地区】shironi coffee roastersに講師依頼。多寄地区8人参加。
地域づくり講座	継続	12/10	多寄小学校ホール	1	18	多寄地区ＰＴＡ連合会と共催。テーマ「お金について考えてみよう」士別地区広域消費生活センターに講師依頼。
多寄町民スキー教室	継続	1/13,16,18	日向スキー場	3	11	多寄スポーツクラブと共催して実施。大会、ツアーは実施なし。
子ども会親子視察研修（4地区合同研修）	新規	1/14	旭川市	1	2	多寄地区子ども会参加。※バス使用料：市負担。
多寄子ども会後期事業	継続	1/24	多寄小学校体育館	1	28	親子参加事業。ユニホック、カードめくりゲーム、ドッヂボール実施。
高齢者健康講座	継続	2/26	研修センター	1	22	講師：市保健福祉センター水田保健師 講演内容：日常生活でできる頭とからだのフレイル対策
文集たよろの会	継続		研修センター他	－	－	「文集たよろ」年1回の発行。 編集会議　11/13開催。3月に第44号を発行。
多寄公民館だより	継続		町内新聞折込み	12	－	公民館だより（5月～3月、お知らせ版1号、計12号発行）。

令和８年度　多寄公民館事業計画

事　業　名	新規継続	実施月日	会場	回数	参加人数	事　業　の　概　要
子ども会前期事業（親子視察研修） （子ども会）	継続	8/10	旭川市	1	21	6月～8月（旭川市近郊までの距離）内容未定。
手話講座	継続	7/22、7/29、8/5	研修センター	3	7	7月～10月
子ども会ラジオ体操会 （子ども会）	継続	7/23～8/18	各家庭、１日のみ集合	1		7月下旬～8月中旬 夏休み期間の規則正しい生活リズムの維持。
陶芸教室	新規		研修センター			時期未定
多寄地区文化祭（市民総合文化祭多寄会場）	継続		研修センター			10月31日　展示会、芸能発表会、お茶会
4地区館合同講座　多寄公民館担当	継続		研修センター			時期未定　リース作り教室。
地域づくり講演会	継続		多寄小学校ホール			11月　多寄支区PTAと共催で開催。
多寄町民スキー教室	継続		日向スキー場			12月下旬～2月上旬　スキーを体験し参加者の親睦を図る。
親子視察研修（4地区合同研修） （子ども会）	継続	8/1	多寄は参加希望者なし			6月～8月（札幌市近郊までの距離）4地区子ども会合同実施。
子ども会後期事業 （子ども会）	継続		多寄小学校体育館			9月～3月　内容未定。
高齢者健康づくり講座	継続		研修センター			2月下旬～3月上旬　健康に関する学習
文集たよろ発行	継続		研修センター他	－	－	年1回発行（45号　R9.3月発行予定）
公民館だより発行	継続		町内新聞折込み	12	－	通年5月～3月

資料４－４

令和7年度 温根別公民館事業報告

≪公民館≫

月日	曜日	行 事 の 内 容	場　　所	参加人数
7月8日	火	パークゴルフ体験（学校地域協働活動）	憩いの広場PG場	12名
7月26日	土	神社祭典委員長杯兼公民館長杯パークゴルフ大会	憩いの広場PG場	11名
8月26日	火	ソープフラワーアレンジメント教室（4地区公民館合同開催）	生活改善センター研修室	中止
9月9日	火	温根別子ども太鼓教室	温根別小学校	6名
9月30日	月	第1回町民ボッチャ大会（スポーツクラブ共催）	白山自治会館	15名
10月8日	火	羊毛工芸教室（異世代交流事業）	温根別小学校	10名
10月20日	月	クラフト工芸教室（上士別）（4地区公民館合同開催）	上士別構造改善センター	14名（2名）
10月25日	土	士別市民総合文化祭温根別会場	温根別小学校	約100名
11月26日	火	町民卓球教室	交流センター	10名
11月30日	日	町民卓球大会	交流センター	16名
12月8日	月	クリスマスリース作り教室（多寄）（4地区公民館合同開催）	多寄研修センター	19名（4名）
1月8日	水	子どもスキー教室（スポーツクラブ・子ども会共催）	日向スキー場	9名
1月11日	土	餅つき体験（子ども会共催）	生活改善センター体育館	20名
2月13日	金	フライパンでできる!クレープ教室（朝日）（4地区公民館合同開催）	あさひサンライズホール	15名（2名）
2月6日	金	男の料理教室	士別市保健福祉センター	6名
2月15日	土	子どもボーリング大会（スポーツクラブ・子ども会共催）	遊ランド士別店	14名
3月17日	火	はじめての投資信託講座	生活改善センター和室	12名

公民館だより発行（5月・7月・8月・9月・11月・12月・1月・3月）

（内）の人数は、温根別地区住民の参加者数

≪北温分館≫

月日	曜日	行 事 の 内 容	開 催 場 所	参加人数
4月13日	日	分館開校式・運営委員会	北温分館	16名
6月14日	土	北温分館環境整備	北温分館	20名
11月11日	火	北温分館環境整備	北温分館	12名
1月18日	日	北温分館環境整備	北温分館	6名
1月26日	月	料理教室	北温分館	6名
2月20日	金	手芸教室	北温分館	6名

令和8年度 温根別公民館事業報告（4月～8月まで）

≪公民館≫

月日	曜日	行 事 の 内 容	場　　所	参加人数
7月26日	日	神社祭典委員長杯兼公民館長杯パークゴルフ大会	憩いの広場PG場	12名
8月26日	火	ソープフラワーアレンジメント教室（4地区公民館合同開催）	生活改善センター研修室	15(8)名

（内）の人数は、温根別地区住民の参加者数

≪北温分館≫

月日	曜日	行 事 の 内 容	場　　所	参加人数
4月13日	日	分館開校式･運営委員会	北温分館	16名
6月20日	金	環境整備	北温分館	18名

資料４－５

令和7年度朝日公民館事業　実績

開催日	事業名	参加者数	講師・相手方	備考
7月28日～8月11日	ラジオ体操	延べ243人		朝日地区子ども会、朝日スポーツ協会との共催
7月31日・8月1日（夏休み期間）	水泳教室(2日間)	延べ16人	福井あけみ 氏	
8月5日（夏休み期間）	ソープフラワーアレンジメント教室	6人	(有)千草生花店 千葉晃樹 氏	
8月26日	ソープフラワーアレンジメント教室	講師の都合により急遽中止	(有)千草生花店 千葉晃樹 氏	4地区合同講座として実施(温根別)
10月13日	宣言タイムマラソン	参加者なしのため中止		
10月21日・24日	茶道教室	朝中1年生6名・引率5名、朝中2年生6名・引率4名	朝日茶道会（代表 江口智恵子 氏）	
10月20日	木工クラフト体験教室	14人（上士別9人・温根別2人・多寄3人・朝日0人）	順工房 塚本順一 氏	4地区合同講座として実施(上士別)
11月1日・2日	朝日町文化祭	延べ入場者数400人		作品展示・芸能発表会・お茶会
12月8日	クリスマスリース・ガーランド作り教室	12人（上士別3人・温根別4人・多寄8人・朝日2人）	shironi coffee roasters（ｼﾛﾆ ｺｰﾋｰﾛｰｽﾀｰｽﾞ）植物係 福士優美 氏	4地区合同講座として実施(多寄)
1月6日～29日	基礎スキー教室	6日間・延べ49人（朝日4人・上士別12人）	朝日スキー連盟	上士別と合同開催
1月7日	新年書き初め会	子どもの部5人 大人の部10人	漢　幸雄 氏	午前：子ども 午後：大人
1月16日	バルシューレ教室	講師の都合により急遽中止	士別市スポーツ協会	
2月16日	フライパンでできる！クレープ教室	14人（上士別2人・温根別2人・多寄4人・朝日6人）	三好真希子 氏	4地区合同講座として実施(朝日)

令和8年度朝日公民館事業　実施計画

開催予定	事業名	参加者数	講師・相手方	備考
7月27日～8月10日	ラジオ体操	延べ202人		スポーツ協会、子ども会と共催
7月28日	ソープフラワーアレンジメント教室	15人（上士別1人・温根別8人・多寄3人・朝日3人）	(有)千草生花店 千葉晃樹 氏	4地区合同講座として実施(温根別)
8月5日	プラバンとレジンでオリジナル小物を作ろう！	12人（うち親子4組）	植松春香 氏	文化祭展示企画
8月6日～7日(夏休み期間)	水泳教室（2日間）	延べ8人	福井あけみ 氏	
9月	ボッチャ大会		士別市社会福祉協議会	
10月	モルック体験（糸魚小学校対象）		多寄スポーツクラブ	糸魚小学校校外活動で実施
10月	宣言タイムマラソン			
10月	茶道教室（朝日中学校1、2年生対象）		朝日茶道会	文化祭企画
文化祭前	書道教室		漢　幸雄 氏	文化祭展示企画
文化祭前	未定			文化祭展示企画
10月31日・11月1日	朝日町文化祭			作品展示・芸能発表会・お茶会
12～2月	基礎スキー教室		朝日スキー連盟	昨年度計6回実施
冬休み期間中	新年書き初め会		漢　幸雄 氏	
時期未定	バルシューレ体験		士別市スポーツ協会	士別市スポーツ協会との共催
時期未定	4地区合同講座	10,000	未定	朝日開催